Ⅱ　愛知県委託緊急包括交付金支援事業

1　軽症者入所施設への看護職派遣事業

1）目的

愛知県が開設し運営する新型コロナウイルス感染者（軽症者）入所施設へ看護職を派遣することで、感染拡大に伴う医療現場の負担を軽減する。

潜在看護職へ新型コロナウイルス感染者（軽症者）入所施設への勤務を促すことで、看護現場への復職の機会とする。

2）対象

看護職

（1）愛知県看護協会会員施設の看護職

（2）愛知県看護協会の看護職員

（3）潜在看護職（愛知県看護協会が緊急雇用した潜在看護職）

3）期間及び場所

（1）期間　①令和 2 年 4 月 29 日（水）～5 月 26 日（火）

②令和 2 年 7 月 28 日（火）～12 月 25 日（金）

（2）場所　①あいち健康プラザ健康宿泊館（知多郡東浦町）

②ホテル東横 INN 三河安城駅新幹線南口１（安城市）

4）事業内容

令和２年３月に入り新型コロナウイルス感染者が急増しはじめたため、県は新型コロナウイルス感染者（軽症者）入所施設の開設を検討し始め、そこで働く看護職について看護協会に協力依頼があった。

協会として、感染症病棟を有する医療機関はもとより県内の医療現場の負担を軽減するため、会員施設から協力できる看護職を募集した。3 月 31 日～4月 13 日の間、3 回の呼びかけを実施したが、応募施設は 14 施設のみで、医療機関は感染者の対応に追われている上、自施設の感染防止を最重視しており非常に厳しい状況であることが分かった。

そこで、協会は何としても入所施設への看護職派遣に協力をすることが必要と判断し、潜在看護職を緊急雇用し派遣することに踏み切った。（4 月 15 日）

協会としてナースセンターへ求人申請し、書類審査及び面接の上で看護職を採用した。雇用は１週間から４週間の短期間とし、勤務体制は入所者数に応じて１週間を６～８名の看護職でグループを編成し、二交代制とした。（日勤 2～4 名体制、夜勤 2 名体制）

感染者の減少により、県は６月に入所施設を一旦閉所した。しかし、7 月に入り第２波の襲来となり入所施設を再開したため、協会は再度、潜在看護職を短期雇用し入所施設へ 12 月 25 日まで派遣した。

全期間を通して、協会は潜在看護職を 67 名採用し、全員が入所施設において看護業務に従事した。

5）第１波から第３波における軽症者入所施設への看護職派遣実績の概要

感染の波	派遣期間	派遣場所	看護職			
			会員施設の看護職	看護協会の看護職	潜在看護職	合計
第１波	4 月 29 日～5 月 9 日	ホテル東横 INN	延 8 名	延 31 名	延 20 名	延 59 名
	5 月 4 日～5 月 26 日	あいち健康プラザ健康宿泊館	延 29 名	延 14 名	延 83 名	延 126 名
第２波 第３波	7 月 28 日～12 月 25 日	あいち健康プラザ健康宿泊館			延 679 名	延 679 名
合計			延 37 名	延 45 名	延 782 名	延 864 名

6）資料

（1）新型コロナウイルス感染軽症者入所施設への看護職派遣のための看護協会の動き

（第 1 波　令和 2 年 3 月～6 月）

（2）看護職員の業務の流れ

（3）勤務する看護職員への案内

（4）事業風景

【第１波】新型コロナウイルス感染者（軽症者）入所施設への看護職派遣の結果

●県が開設した新型コロナウイルス感染者（軽症者）入所施設 2 施設（あいち健康プラザ健康宿泊館・ホテル東横 INN 三河安城駅新幹線南口１）へ、以下のとおり看護職を派遣した。

※1 回の勤務（日勤、夜勤とも）看護職 1 名として計上

施設名	派遣期間	会員施設 看護職	潜在看護職	看護協会職員 看護職	小計	合計
あいち健康プラザ健康宿泊館	5/4（月）～5/10（日） 7 日間	実 3 名 延 13 名	実 7 名 延 22 名	実 2 名 延 7 名	実 12 名 延 42 名	実 36 名 延 126 名
	5/11（月）～5/17（日） 7 日間	実 4 名 延 16 名	実 5 名 延 19 名	実 2 名 延 7 名	実 11 名 延 42 名	
	5/18（月）～5/24（日） 7 日間		実 8 名 延 37 名		実 8 名 延 37 名	
	5/25（月）～5/26（火） 2 日間		実 5 名 延 5 名		実 5 名 延 5 名	
ホテル東横 INN 三河安城駅新幹線南口１	4/29（水）～5/3（日） 5 日間			実 9 名 延 25 名	実 9 名 延 25 名	実 17 名 延 59 名
	5/4（月）～5/9（土） 6 日間	実 2 名 延 8 名	実 5 名 延 20 名	実 1 名 延 6 名	実 8 名 延 34 名	
合計	4/29（水）～5/26（火） 延 34 日間	**実 9 名 延 37 名**	**実 30 名 延 103 名**	**実 14 名 延 45 名**	**－**	**実 53 名 延 185 名**

●会員施設看護職：実 9 名　延　37 名
（派遣会員施設 5 病院：愛知医科大学病院、医療法人赫和会杉石病院、公立西知多総合病院、JA 愛知厚生連江南厚生病院、野垣病院）
●潜在看護職：実 23 名　　延 103 名
応募者数　68 名
面接者数　46 名
採用者数　35 名（施設入所者数が早期に 0 となったため、採用したが勤務しなかった者 12 名を含む）、年齢 25 歳～68 歳
●看護協会（教育センター・ナースセンター）職員看護職：実 10 名　　延 45 名

【第2・第3波】新型コロナウイルス感染症（軽症者）入所施設への看護職派遣の結果

県が開設した新型コロナウイルス感染者（軽症者）入所施設（あいち健康プラザ健康宿泊館）へ、以下のとおり看護協会が短期雇用した看護職を派遣した。

派遣期間：令和2年7月28日（火）～12月25日（金）

派遣場所：あいち健康プラザ健康宿泊館（知多郡東浦町）

※1回の勤務（日勤、夜勤とも）を看護職1名として計上

施設名	週数	派遣期間	看護職人数（人）		入所者数（人）							勤務体制等 二交代制
			実	延	月	火	水	木	金	土	日	
あいち健康プラザ 健康宿泊館	1	7/28（火） ～ 8/2(日) 6日間	3	14		5	12	12	27	27	27	日勤4名体制
	2	8/3（月） ～ 8/9（日） 7日間	6	31	42	47	53	49	43	43	43	日勤4名体制
	3	8/10（月） ～ 8/16（日） 7日間	6	31	43	20	22	24	25	25	25	日勤4名体制
	4	8/17（月） ～ 8/23（日） 7日間	8	39	16	13	17	17	21	21	23	日勤4名体制で開始するが、途中看護職人数調整実施
	5	8/24（月） ～ 8/30（日） 7日間	8	38	20	21	21	17	16	16	17	日勤4名体制
	6	8/31（月） ～ 9/6（日） 7日間	8	42	17	18	18	21	21	21	21	日勤4名体制
	7	9/7（月） ～ 9/13（日） 7日間	8	42	17	11	11	13	14	14	14	日勤4名体制
	8	9/14（月） ～ 9/20（日） 7日間	7	35	13	13	14	13	17	17	17	日勤3名体制
	9	9/21（月） ～ 9/27（日） 7日間	7	28	17	17	12	9	8	8	5	日勤2名体制
	10	9/28（月） ～ 10/4（日） 7日間	7	27	5	7	9	9	8	8	8	日勤2名体制
	11	10/5（月） ～ 10/11（日） 7日間	7	28	8	8	7	5	6	6	6	日勤2名体制
	12	10/12(月) ～ 10/18（日） 7日間	6	28	6	5	4	6	6	6	10	日勤2名体制
	13	10/19（月） ～ 10/25（日） 7日間	6	28	12	10	11	14	16	16	9	日勤2名体制
	14	10/26（月） ～ 11/1（日） 7日間	6	28	13	10	12	11	12	12	12	日勤2名体制
	15	11/2（月） ～ 11/8（日） 7日間	6	28	11	11	17	22	31	41	51	日勤2名体制
	16	11/9（月） ～ 11/15（日） 7日間	6	28	51	50	46	40	48	48	45	日勤2名体制
	17	11/16（月） ～ 11/22（月） 7日間	6	28	37	41	51	50	58	51	51	日勤2名体制
	18	11/23（月） ～ 11/29（日） 7日間	7	34	52	52	51	53	51	51	56	日勤3名体制
	19	11/30（月） ～ 12/6（日） 7日間	7	34	57	51	54	55	52	52	56	日勤3名体制
	20	12/7（月） ～ 12/13（日） 7日間	7	35	54	55	50	56	55	55	62	日勤3名体制
	21	12/14（月） ～ 12/20（日） 7日間	7	35	58	59	53	48	36	36	20	日勤3名体制
	22	12/21（月） ～ 12/25（金） 5日間	7	18	13	9	8	3	0			日勤2名体制
合計		151日間	**146**	**679**	562	533	553	547	571	574	578	

●潜在看護職： 実 44名　　延 679名

応募者数 36名

面接者数 33名

採用者数 44名 26名(第2波～第3波採用者)＋18名（第1波採用者）

採用者の年齢 25歳～65歳

軽症者入所者施設（あいち健康プラザ健康宿泊館）における医療機関への搬送状況

新型コロナウイルス感染症の第 2 波の兆しがあったため、愛知県は軽症者入所施設として、あいち健康プラザ健康宿泊館を 7 月 28 日に再開した。看護協会は、再開初日から 12 月 25 日まで看護職を派遣した。

医療スタッフ体制は、看護職は常駐体制、医師はオンコール体制であった。

看護職が医師へ入所者の状況を報告し、医師から搬送が必要と指示があった場合は、県体制整備班で搬送先医療機関を調整するシステムとなっていた。搬送状況は以下のとおりであった。

医療機関への搬送状況と搬送理由（令和 2 年 7 月 28 日～12 月 25 日）

項目		人数	備考
入所者数		**645 名**	
施設から医療機関へ搬送した者		**36 名**	**全入所者の 5.6%**
搬送理由	① 37.5℃以上発熱（9 月以降は発熱は搬送基準から外された）	17 名	・状態の悪化 ・Sp02 93%以下の 7 名のうち 6 名は 37.5℃以上の発熱を伴った
	② Sp02 93%以下	7 名	
	③ 下血	1 名	
	④ 腹満、既往歴にイレウス、胃潰瘍	1 名	発熱（40℃）を伴う
	⑤ 自死行為	1 名	
	⑥ 頭痛により自立生活困難	1 名	
	⑦ 不定愁訴	1 名	発熱（38.5℃）を伴う
	⑧ 反応性うつ	1 名	発熱（39.2℃）を伴う
	⑨ 下痢、脱水	1 名	
	⑩ 食欲不振、摂食困難	4 名	
	⑪ 呼吸苦	1 名	

搬送方法

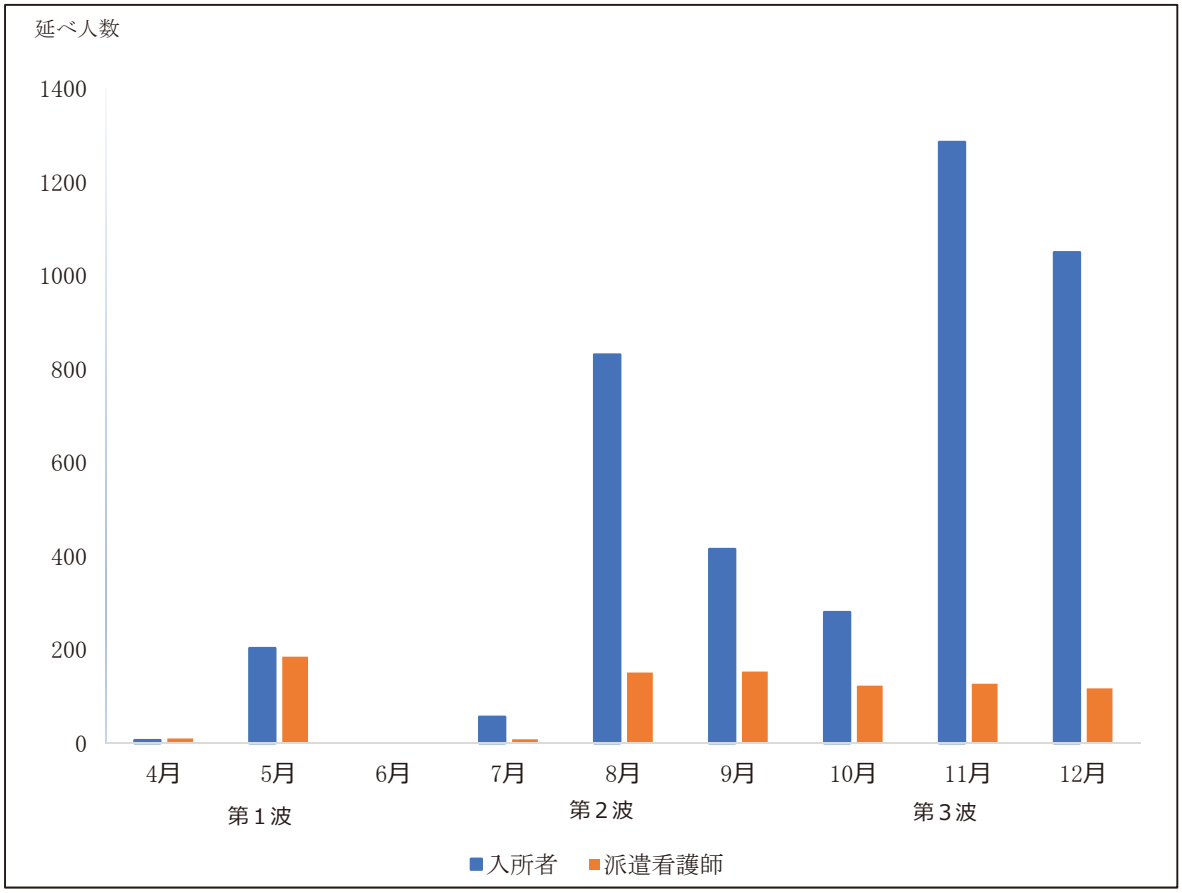
搬送方法	人数
公 用 車	12 名
搬送業者	9 名
救 急 車	15 名
合　　計	36 名

軽症者施設に派遣した看護職の応募状況・勤務実績（令和 2 年 4 月 15 日～11 月 30 日）

募集期間		応募者数	採用者	勤務者数（実績）
第 1 波	4/15～5/11	68 名	35 名	23 名 年齢　25 歳～68 歳
第 2 波 第 3 波	7/20～11/30	36 名	26 名	44 名（うち 18 名は第 1 波での採用者） 年齢：25 歳～65 歳

入所者数と派遣看護職数

（令和 2 年 4 月～12 月）



資料Ⅱ-1-(1)

(1)新型コロナウイルス感染軽症者入所施設へ看護職派遣のための協会の動き(令和2年3月～6月)

新型コロナウイルス感染者(軽症者)入所施設は、入所施設とする

月日		愛知県看護協会の動き		入所施設患者数		他の動き
		対策本部	看護職の派遣	東横INN	健康プラザ宿泊館	
3月	16日	医師会長から看護協会長へ、入所施設開設時は看護職の協力について連絡あり				
	30日	愛知県から看護協会に看護職派遣について相談あり				愛知県は、医師会、病院協会、看護協会へ入所施設への医療従事者派遣について協力依頼する(派遣条件の提示)
	31日	「軽症者の入所施設への看護師派遣協力に関する意向調査」を発送(722会員施設　期間 3/31～4/10)				
4月	1日					
	6日	**「新型コロナウイルス感染症対策本部」設置**				
	9日					愛知県:入所施設 健康プラザ宿泊館を開設
	10日	「軽症者の入所施設への看護師派遣協力に関する意向調査」　回答数20施設うち派遣協力ありは14施設				愛知県から入所施設への看護職派遣の派遣条件について再提示あり
	13日	**入所施設への看護職派遣を決める(施設:健康プラザ宿泊館　期間:5/4～/17)**				愛知県から看護職派遣要請あり 施設:健康プラザ宿泊館 期間:5/4～5/17
	15日	**潜在看護師を緊急雇用することを決定**				
		ナースセンターから登録者へ、看護協会による雇用契約を呼び掛ける(4/15～5/11)				
		入所施設　健康プラザ宿泊館を視察(3名)	潜在看護師募集 4/15～5/11			
	16日					愛知県から看護職の派遣の打診あり 施設:東横イン 期間:4月末頃～
	17日	「軽症者の入所施設への看護師の派遣について(依頼)」を発送(722会員施設　期間:4/17～4/24)				
		協会内で看護職を対象に派遣についての説明会(第1回)開催				
	20日					愛知県知事:定例記者会見で潜在ナースの復職呼びかけ
	21日	協会内で看護職を対象に派遣についての説明会(第2回)開催 入所施設　健康プラザ宿泊館を視察(6名)				
	22日	**軽症者入所施設への看護職派遣を決める(施設:東横INN　期間　4/29～)**				愛知県から看護職派遣要請あり 施設:東横イン 期間:4/29～
	23日	潜在看護職の採用面接開始する(4/23～4/30)				
	24日	「軽症者の入所施設への看護師の派遣について(依頼)」　協力可能数　5病院16名	潜在看護師面接 4/23～5/1実施			
	27日	**会員施設看護師の派遣は5/4～10、5/11～とする。それ以降は潜在看護職のみとする**				
	28日	入所施設　東横INNを視察(8名)				
	29日		**東横INN派遣開始 (4/29～5/9)**	3		愛知県:入所施設　東横インを開設
	30日	**「軽症者の入所施設への看護師の派遣協力の礼状」発送(722会員施設)**		3		
5月	1日			3		県、名古屋市から、PCR外来の看護師派遣について相談あり
	2日			4		
	3日			4		
	4日		**健康プラザ宿泊館 派遣開始 (5/4～/26)**	4	17	
	5日			4	16	
	6日			3	14	
	7日			1	14	
	8日	東横INNへの看護師派遣を入所者0となる5月9日で終了と決定 勤務予定者へ中止となったことを連絡する		1	14	愛知県から東横インを5月9日で入所者が0となるとの情報
	9日		**東横INN派遣終了 (4/29～5/9)**	1	13	
	10日			0	12	
	11日	**軽症者入所施設への看護職派遣を決める(施設:健康プラザ宿泊館　期間:5/18～)**			11	
	12日	潜在看護師として応募のあった看護職へ採用中止の連絡をする			10	
	13日				9	
	14日				8	
	15日				11	愛知県瀬戸保健所豊明分室にてPCR外来開始
	16日				9	
	17日				8	
	18日				7	
	19日				3	
	20日		日勤帯勤務者4名から3名とす		4	
	21日				4	
	22日				3	愛知県は東横インを閉鎖したことを報
	23日	潜在看護師2名が県看護師と中日新聞の取材に応じる			2	
	24日				1	
	25日	健康プラザ宿泊館の看護師派遣を入所者0となる5月25日で終了と決定			1	
	26日	潜在看護職へ入所施設の患者が0となり勤務が中止となったことを連絡する	**健康プラザ宿泊館 派遣終了 (5/4～/26)**		0	
	29日	潜在看護師2名の記事が中日新聞朝刊に掲載				
6月	1日					
	17日	潜在看護師2名が県看護師とCBCテレビの取材に応じる				
	19日					愛知県は健康プラザ宿泊館を閉鎖したことを報道
	22日	潜在看護師2名のインタビューがCBCテレビチャントにて放映				

(2)看護職員の業務の流れ

1日の流れ 日勤	1日の流れ 夜勤	入所者	看護師		リーダー 施設運営業務	サブリーダー 施設運営業務	入所者運送 食事・生活支援
				6:00	朝食1階へ運ぶ(看護師分) 中庭・搬入口開ける		
		6:30 起床、検温	朝食配布準備 (水・生活用品補充)	6:30	朝食を11階へ運ぶ		
		7:00 朝食受け取り、LAVITA入力	朝食配布・入所者観察	7:00			
			支援班に弁当未受取の入所者への連絡依頼	7:15	看護師から依頼のあった入所者へ弁当受け取りの連絡		
			11階テーブル・レンジ消毒	7:30	LAVITA入力状況確認・未入力者連絡		
			ゴミ箱周りの環境整備・ゴミ回収 (11階から5階まで順番に実施し降りて行く。)	7:30～	退所者へ退所確定連絡・LAVITA代行入力・ダブルチェック		
				7:45	業務報告書の作成		
			清潔エリアに出た後に、LAVITA項目チェック		退所部屋の清掃用具一式を準備する		
8:45		8:45	**全体合同ミーティング**	8:45	**全体合同ミーティング**		
			看護師間の引き継ぎ		職員間の引き継ぎ		
	9:45			9:00	入所予定表・退所予定表・入所者一覧表を看護師へ渡す 防災センターへ入所者数報告		退所部屋の掃除用具一式を11階に運ぶ
		9:30 退所	退所者の対応	9:30	退所日等入力 ホワイトボードの更新 LAVITA退所者を休止に	退所者の対応(在所証明、退所される皆様へ配付)	
			退所部屋の片づけ 退所清掃用のバスブラシ、トイレブラシ、洗面ブラシは使い捨て	10:00			弁当数連絡
			退所部屋の片づけが多い場合は、入所後や夜勤で実施する	10:30			入所予定者へ確認連絡 PPE補充・バスタオル回収・トイレ、もりの湯清掃 感染性廃棄物回収
		11:30 検温	昼食配布準備 (水・生活用品補充)	11:30			昼食・宅配物を11階へ運搬
		12:00 昼食、宅配物受け取り、LAVITA入力	昼食、入所者観察、宅配物配布	12:00	昼休憩 11:30～13:00(交代で休憩)		
			支援班に弁当未受取の入所者への連絡依頼	12:15	看護師から依頼のあった入所者への弁当受け取り連絡		
			11階テーブル・レンジ消毒	12:30			LAVITA入力状況確認・未入力者へ連絡
			ゴミ箱周りの環境整備・ゴミ回収 (11階から5階まで順番に実施し降りて行く。)	12:30		LAVITA代行入力、ダブルチェック	
			昼休憩 12:00～14:00(交代で休憩)	14:00	入所者の対応、記録(PC、ホワイトボード)	退所予定者への連絡(14:00～適宜)	入所者搬送
			LAVITA項目チェック				同意書等写真受取
		14:00	入所者の対応(入所セット・同意書確認)	15:00	翌日入所者の確認、部屋の割り付け準備	入所者情報シート入力・ダブルチェック	
			14時オンコール医師へ定時報告	15:30			感染性廃棄物回収
				15:45	感染症対策課に定例報告		
				16:00		報告書の作成	弁当数連絡
	17:00		出勤時体調チェック 看護師間の引き継ぎ	17:00	出勤時体調チェック 職員引き継ぎ		
17:30		17:30 検温	夕食配布準備 (水・生活用品補充)	17:30	夕食・宅配物を11階へ運搬		
		18:00 夕食、宅配物受け取り、LAVITA入力	夕食、入所者観察、宅配物配布	18:00	中庭・搬入口を閉める		
			支援班に弁当未受取の入所者への連絡依頼	18:15	看護師から依頼のあった入所者への弁当受け取り連絡		
			ゴミ回収(11階から5階まで順番に実施し降りて行く。)	18:30	LAVITA入力状況の確認、未入力者へ連絡 LAVITA代行入力、ダブルチェック		
			環境清掃 (5から10F階段手すり、 EV左右、EVホール、ランドリー清掃、ランドリーフィルター、客室ドアノブ等)週に1回各階廊下フロア	19:00～	入所者情報を印刷、インデックス貼付 入所者患者予定一覧等のデータ入力・ダブルチェック LAVITA登録・用紙作成		
			LAVITA項目チェック		入所予定表・退所予定表・入所者一覧表 退所時に渡す書類(在所証明書等)作成		
				20:30	就寝前安否確認用紙を作成し看護師に渡す		
		21:00	就寝前電話で安否確認、SPO2値、チェック (看護師と職員で一斉に対応)	21:00	就寝前電話で安否確認、SPO2値、チェック(看護師と職員で一斉に対応)		
			記録や電話対応	21:00	就寝前安否確認結果をLAVITAへ入力・ダブルチェック		
			交代で休憩・仮眠	～6:00	オンコールで休憩・仮眠(①控室・2階会議室)		

資料Ⅱ－１－（３）

新型コロナウィルス感染症患者軽症者等宿泊施設で勤務する看護職の方へ

１．勤務地

あいち健康プラザ健康宿泊館

知多郡東浦町大字森岡字源吾山１番地の１

２．勤務初日の集合時間と集合場所

集合時間：午前８時 10 分（夜勤から勤務する方は午後４時 45 分）

集合場所：あいち健康の森プラザホテル正面玄関

（県職員がお迎えに行きます）

初日の集合場所

午前８時 10 分に

（夜勤から勤務する方は午後４時 45 分）

プラザホテル正面玄関前

３．服装、持ち物等

・作業着は、県から勤務日ごとに貸し出しになります。服装として黒のＴシャツ、作業用パンツ（又はスエット上下）を男女兼用サイズでSS、S、M、Lを準備しています。履き物は、黒のクロックスを準備しています。それ以外はご自身で用意してください。（インナー・靴下等）

・事務局（清潔ゾーン）は冷暖房していますが常時換気をしているため、暑かったり、肌寒いことがあります。体温調整できる衣類等はご自身でご用意ください。

・夜間の仮眠は控え室を交代でご利用いただけます。冷暖房は使用可能です。

・勤務終了後に、シャワーのご利用が可能です。施設内４階「もりの湯」をご利用ください。施設が休止しているため、シャワーのみのご使用となります。バスタオル、ボディソープ、リンスインシャンプー、ドライヤーは準備してあります。

４．食事

・勤務されている方へは、県がお弁当・お茶を準備してあります。

５．貴重品の管理

・ご自身で管理をお願いします。
施設内１階控え室（看護師用）施錠または、4 階もりの湯フロアのロッカーにて管理をお願いします。

６．交通手段

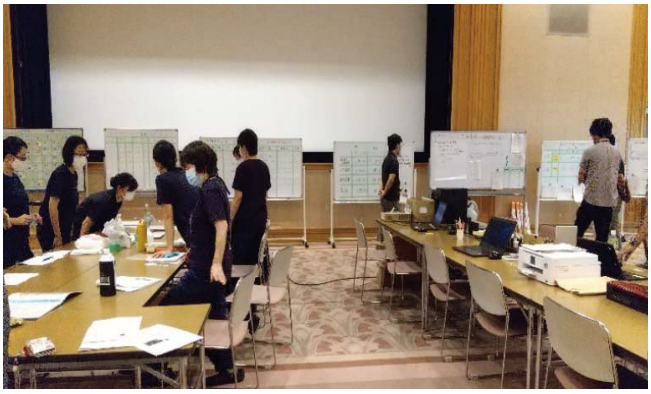
・自家用車の利用は可能です。
あいち健康の森プラザ正面玄関向かって左手側の駐車場を利用してください。
（駐車料金 無料）

・公共交通機関でお越しになる場合は、JR 大府駅から知多バス「長寿医療センター森岡台循環」または、「げんきの郷」行きに乗車して、約 12 分
（「JR 大府駅西口」7：50 発（休日は 7:55 発）→「あいち健康プラザ」8：02 着）
（「JR 大府駅西口」16:30 発 →「あいち健康プラザ」16:42 着）
＊バス料金 210 円（IC カードは使えません。）

資料Ⅱ－１－（４）

軽症者入所施設への看護職派遣事業風景

看護職の引継ぎの様子



スタッフ出入口

2 クラスター発生時の看護師等派遣事業

1） 目的

県内の医療機関や福祉施設において新型コロナウイルス感染症の患者クラスターが発生し、通常の運営体制の維持が困難になった場合に本看護協会から看護師を派遣、または本協会の派遣調整の下、県内の医療機関から看護師を派遣する。

2） 対象

看護職

1）愛知県内医療機関の感染管理認定看護師・感染症看護専門看護師・看護師

2）愛知県看護協会の役員、看護職員：認定看護管理者・看護師

3） 期間

令和 2 年 8 月～

4） 事業内容

県内の医療機関や福祉施設より提出されたクラスター発生時の看護師等派遣依頼書は、管轄保健所へ提出後、県の感染症対策課で審議し、本看護協会に依頼されるシステムである。本協会は依頼書の内容を確認し、下記の活動に必要な看護師派遣調整を行った。

	派遣する看護師等	活動内容
第1陣 **（先遣活動）** 最大 1 週間程度	感染管理認定看護師 感染症看護専門看護師 認定看護管理者	**感染拡大防止対策** ・施設の感染防止対策の問題点の把握及び見直し ・不足する職員や新たに発生する看護業務等に必要な人員の算出 ・第 2 陣の活動を含めた勤務表の作成
第2陣 **（看護応援活動）** 2 週間程度	看護師・准看護師等	**通常体制への早期復帰支援** ・通常の運営体制を維持するための看護応援業務

（1）第 1 陣　先遣活動

令和 2 年 8 月から令和 3 年 6 月までの派遣については、派遣依頼件数（施設数）51 件、対応回数は 110 回であった。派遣看護師は、クラスター発生施設の近隣の医療機関に依頼し、感染管理認定看護師や感染症看護専門看護師の派遣調整を行った。また、クラスター発生施設への、訪問初日には本看護協会の役員または看護職員が派遣看護師に同行し、施設の現状や課題を把握すると共に、指導や相談に応じた。令和 2 年 12 月からは、DMAT もクラスター施設への指導に入る事となり、派遣看護師が DMAT と共に指導ができるよう日程調整を行ない、医師と共に陽性患者の状態把握や入院調整、職員への症状観察、急変時の対応方法等も指導した。

依頼件数に対し対応回数が多い理由は、派遣看護師が施設の状況を判断し、訪問指導や電話・メールでの相談対応など複数回に関わり支援を行ったためである。派遣看護師の支援内容は、ゾーニングについての説明、患者や入居者の日常生活援助の助言、勤務体制、勤務編成への助言、個人防護具の着脱指導等

の感染管理や感染対策のみでなく、職員のメンタル対策や相談などにも対応し、クラスター発生施設の職員の安心感にもつながった。

第 1 陣（先遣活動）状況

依頼月	依頼件数	派遣数	支援回数（訪問指導・電話・メール相談）
令和 2 年 8 月	1 件	1 名	3 回
9 月	1件	1名	1回
10 月	0 件	0 名	0 回
11 月	2 件	2 名	2 回
12 月	4 件	4 名	12 回
令和 3 年 1 月	13 件	13 名	30 回
2 月	3 件	3 名	3 回
3 月	2 件	2 名	6 回
4 月	8 件	8 名	15 回
5 月	16 件	16 名	36 回
6 月	1 件	1 名	2 回
合計	51 件	51 名	110 回

第 1 陣（先遣活動）協力施設　30 施設

1	愛知県医療療育総合センター中央病院	16	トヨタ記念病院
2	愛知県立愛知病院	17	豊橋市民病院
3	稲沢市民病院	18	名古屋掖済会病院
4	医療法人偕行会　名古屋共立病院	19	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター
5	医療法人豊田会　刈谷豊田総合病院	20	名古屋市立大学病院
6	春日井市民病院	21	名古屋第二赤十字病院
7	蒲郡市民病院	22	藤田医科大学ばんたね病院
8	公立陶生病院	23	藤田医科大学病院
9	公立西知多総合病院	24	碧南市民病院
10	三九会　三九郎病院	25	みなと医療生協協立総合病院
11	社会医療法人宏潤会　大同病院	26	AOI 名古屋病院
12	地域医療振興協会　あま市民病院	27	JA 愛知厚生連　海南病院
13	中部労災病院	28	JA 愛知厚生連　江南厚生病院
14	独立行政法人国立病院機構　東尾張病院	29	JA 愛知厚生連　豊田厚生病院
15	豊川市民病院	30	JCHO　中京病院

(2) 第 2 陣　看護応援活動

看護応援活動については 17 件の依頼があったが、派遣件数は 0 件であった。

その理由としては、ナースセンターより、e ナースセンターに登録している潜在看護師に、クラスター発生施設の看護応援の協力について情報を発信したが、感染拡大する中での手上げは厳しい状況であった事や、依頼施設より風評被害を心配し求人情報に施設名を出してほしくない等の希望があり求人に至らなかった。また、クラスター派遣依頼書の記載方法の周知不足による誤記入もあった。

看護応援活動依頼の有無に関わらず、本協会からの同行者は施設訪問時に看護職の勤務状況や業務状況を確認し、施設管理者や職員等と勤務調整や業務調整等について話し合いを行い業務が継続できるように支援した。

5) 資料

(1)新型コロナウイルス感染症の患者クラスター発生時の看護師等派遣スキーム

(2)クラスター発生時の看護師派遣のフロー(協会内)

クラスター発生時の看護師等派遣状況　（令和2年8月～令和3年6月）

	依頼施設	依頼日	派遣看護師	派遣日	指導内容・支援内容	備考
1	病院	令和2年 8月14日	感染管理 認定看護師	8月14日	電話にて状況確認	
				8月17日	リモート指導 ①感染の発生状況確認 ②PCR実施状況確認 ③施設内の職員経路確認 ④感染対策実施確認 ⑤感染対策アドバイス ・食事介助時の対策方法 ・施設内ゾーニング ・防護具の使用方法 ・清掃方法	
				8月28日	訪問指導 ①病院内ラウンド指導 ②病棟看護師からの相談対応	
2	病院	9月25日	感染症看護 専門看護師	10月7日	訪問指導 ①感染経緯の確認 ②院内ラウンド・指導	
3	高齢者福祉 施設	11月13日	感染管理 認定看護師	11月19日	訪問指導 ①施設の感染対策の評価と 改善策の提示 ②ゾーニング確認と指導 ③個人防護具の着脱手順指導	看護協会常務理事 （認定看護管理者） 事前施設確認
4	病院	11月30日	感染症看護 専門看護師	12月14日	訪問指導 ①感染経緯の確認 ②院内ラウンド・指導	看護協会常務理事 （認定看護管理者） 同行
5	高齢者福祉 施設	12月1日	感染管理 認定看護師	12月3日	訪問指導 ①ゾーニングの決定と説明 ②入居者の日常生活援助の助言 ③勤務体制、勤務編成の助言 ④個人防護具の着脱指導 ⑤職員のメンタル対策	DMATの医師と共に指導 看護協会常務理事 （認定看護管理者） 同行
				12月8日	訪問指導 ①ゾーニング確認 ②入居者の体調確認 ③指定病院からの退院患者確認	
				12月9日	訪問指導 ①ゾーニング確認 ②発熱者・体調不良者確認	
				12月11日	訪問指導 ①退院患者の受け入れ先病院調整 ②夜間の救急搬送体制の助言 ③職員配置調整	
				12月14日	訪問指導 ①入居者体調確認 ②職員の相談対応	

	依頼施設	依頼日	派遣看護師	派遣日	指導内容・支援内容	備考
6	病院	12月9日	感染管理 認定看護師	12月11日	訪問指導 ①情報収集、意見交換 ・陽性患者の経緯 ・感染経路の把握 ・院内図面による構造確認 ②院内ラウンド、指導 ・ゾーニング ・環境整備指導 ・個人防護具の着脱確認、指導 ③患者の症状観察ポイントの指導	DMATの医師と共に指導 看護協会看護職員 同行
				12月13日	メールで質問について回答 ①日常業務のチーム分けについて ②ゾーニングについて ③症状悪化の場合の対応について	
				12月14日	メールで質問について回答 ①清潔エリアの消毒方法 ②ゾーニングへの不安	
				12月15日	メールで質問について回答 ①ゾーニング案の提示と説明	
				12月16日	メールで相談対応 ①患者の状況の確認 ②職員の心のケアについて	
7	高齢者福祉施設	12月21日	感染管理 認定看護師	12月24日	訪問指導 ①施設内の状況確認 ②院内ラウンド、指導 ・ゾーニング ・環境整備指導 ・個人防護具の着脱確認、指導	看護協会常務理事 （認定看護管理者） 同行
8	高齢者福祉施設	12月23日	感染管理 認定看護師	12月25日	訪問指導 ①施設内の状況確認 ②院内ラウンド、指導 ・ゾーニング ・環境整備指導 ・個人防護具の着脱確認、指導	DMATの医師と共に指導 看護協会常務理事 （保健師）同行
9	高齢者福祉施設	令和3年 1月8日	感染管理 認定看護師	1月18日	訪問指導 ①感染の発生状況確認 ②陽性者等の配置場所の確認 ③防護具の使用状況 ④消毒剤の配置・使用状況確認 ⑤共有場所でのマスク着用状況 ⑥病院ラウンド ・防護具の着脱について ・マスク等について ・ゾーニングについて ⑦今後の取り組み	看護協会常務理事 （認定看護管理者）同行
				1月26日	訪問指導 ①指導後の情報共有と時系列確認 ②感染対策の疑問や問題点の確認 ③病院ラウンドにて感染対策実施状況の確認	
10	高齢者福祉施設	1月14日	感染管理 認定看護師	1月15日	訪問指導 ①情報収集 ・陽性者の確認 ・感染防止策の現状把握 ②今後の対応 ・ゾーニング・感染防止対策の指導	DMATの医師と共に指導
				1月20日	訪問指導 ①感染管理指導 ・手指衛生、PPEの実践指導 ・質疑応答	

	依頼施設	依頼日	派遣看護師	派遣日	指導内容・支援内容	備考
11	高齢者福祉施設	1月14日	感染管理認定看護師	1月19日	訪問指導 ①情報収集 ・陽性者の経緯 ②問題点の把握 ・感染対策の知識不足 ・個人防護具や消毒薬の不足 ③改善策の指導 ・ゾーニング・感染防止対策	看護協会専務理事 （認定看護管理者） 同行
12	病院	1月16日	感染管理認定看護師	1月19日	訪問指導 ①情報収集 ・陽性者の経緯 ・感染経路の把握 ・陽性者の病棟について ・感染対策について ②質疑応答 ・組織体制について ・陽性者の観察について ・感染した職員の対応について ・個人防護具について ③病棟ラウンド ・ゾーニング・感染防止対策について	看護協会常務理事 （保健師）同行
				1月26日	メールで相談対応 ゾーニング・PPE・環境整備について	
				1月27日	メールで相談対応 隔離解除後の対応について	
				1月28日	メールで相談対応 体調不良職員の対応について	
				2月1日	訪問指導 ①情報収集 ・陽性者と有症状者の確認 ・感染防止策の現状把握 ②質疑応答 ・病室、マンパワー不足について ・ゾーニング・感染防止策について ・職員の症状発現時の対応と復帰のタイミングについて ・他病棟の有症状者の対応について ③病棟ラウンド ・ゾーニング、環境整備 ・抗原検査の取り扱いについて	
				2月2日	メールで相談対応 前日の視察を基に感染対策について	
13	高齢者福祉施設	1月20日	感染管理認定看護師	1月22日	訪問指導 ・情報共有 ・質疑応答 ・施設内ラウンド ・PPE着脱練習	DMATの医師と共に指導 看護協会常務理事 （認定看護管理者） 同行
14	高齢者福祉施設	1月21日	感染管理認定看護師	1月22日	訪問指導 ・ゾーニングについて ・ゾーン別PPEについて ・手指衛生法について ・環境整備の方法について	DMATの医師と共に指導 看護協会専務理事 （認定看護管理者） 同行
				2月3日	訪問指導 ・ゾーニングについて ・ゾーン別PPEと物品について ・質疑応答（9問）	
15	高齢者福祉施設	1月22日	感染管理認定看護師	1月23日	訪問指導（施設内ラウンド後） ①ゾーニングについて ②PPE着脱方法について ③PPE物品管理について ④環境整備の方法について ⑤質疑応答	DMATの医師と共に指導 看護協会常務理事 （認定看護管理者） 同行
				1月29日	訪問指導 ①ゾーニングについて ②PPE着脱方法について ③環境整備について ④感染対策ポスターの作成 ⑤福祉部長寿課との話し合い	DMATの医師と共に指導

	依頼施設	依頼日	派遣看護師	派遣日	指導内容・支援内容	備考
16	障害者施設	1月26日	感染管理 認定看護師	1月28日	保健センターで情報収集 訪問指導 ①現状確認 ②施設内ラウンド ③ゾーニングについて ④PPE着脱方法について ⑤環境整備について	DMATの医師と共に指導 看護協会看護職員同行
				2月6日	保険センターで情報収集 訪問指導 ・現状確認 ・ゾーニングについて ・PPE着脱方法について ・環境整備について	
				2月11日	保険センターで情報収集 訪問指導 ①現状確認 ②ゾーニングについて ③職員の勤務について ④廃棄物について	DMATの医師と共に指導
17	高齢者福祉施設	1月26日	感染管理 認定看護師	1月28日	訪問指導 ①施設内ゾーニング作成 ②環境整備について ③感染防止対策について ④今後の活動について	DMATの医師と共に指導 看護協会常務理事 （認定看護管理者） 同行
				2月3日	電話指導 ①情報収集 ・陽性者と有症状職員の確認 ③隔離解除について	
				2月8日	電話指導 ①情報収集 ・陽性者と有症状職員の確認 ②保健センターからの指導 ③今後の対応	
				2月10日	訪問指導 ①施設内ラウンド ②患者の状態確認 ③職員の健康状態確認	
18	高齢者福祉施設	1月28日	感染管理 認定看護師	1月30日	保健所にて情報共有 訪問指導 ①情報収集・共有 ・経過・入所者の状態 ・ゾーニングについて ・入院適応者と病床確保状況について ・デイサービス休止の提案 ②施設内ラウンド ・PPE着脱手順の確認・指導	DMATの医師と共に指導 看護協会常務理事 （保健師）同行
19	高齢者福祉施設	1月29日	感染管理 認定看護師	2月1日	保健所にて情報共有 訪問指導 ①現状聞き取り ②ゾーニングについて ③環境整備、消毒方法について ④PPE着脱について ⑤環境について	DMATの医師と共に指導 看護協会常務理事 （認定看護管理者） 同行
				2月2日	メール対応 ゾーニングについて	
				2月8日	電話対応 ・訪問後の状況確認 ・廃棄物について	
20	高齢者福祉施設	1月29日	感染制御室 看護師	2月2日	訪問指導 ・ゾーニングについて ・手指衛生法について ・環境整備の方法について ・感染対策について ・健康観察ポイントについて	DMATの医師と共に指導 看護協会看護職員 （認定看護管理者） 同行
				2月5日	電話対応 ・訪問後の状況確認	
				2月8日	メール対応 床の消毒について	

	依頼施設	依頼日	派遣看護師	派遣日	指導内容・支援内容	備考
21	高齢者福祉施設	1月29日	感染管理認定看護師	2月3日	訪問指導 ・ゾーニングについて ・手指消毒剤について ・環境整備の方法について ・陽性者のケア時の感染対策について ・経過観察者の対応について	DMATの医師と共に指導 看護協会看護職員同行
				2月5日	電話対応 ・ゾーニングの確認 ・床掃除の洗浄剤と方法 ・手指衛生指導	
				2月9日	電話対応 ・陽性者の増加に対する相談 ・感染対策のスキル不足についての相談	
22	高齢者福祉施設	2月10日	感染管理認定看護師	2月11日	訪問指導 ①発生状況の確認 ②施設内ラウンド ・ゾーニングについて ・PPE着脱 ・環境整備 ・認知症患者への感染対策	DMATの医師と共に指導 看護協会会長 （認定看護管理者） 同行
23	高齢者福祉施設	2月10日	感染管理認定看護師	2月12日	訪問指導 ①発生状況の確認 ②職員の勤務状況 ③ゾーニングについて ④デイサービスとのゾーニング ⑤PPE着脱について	DMATの医師と共に指導 看護協会看護職員 （認定看護管理者） 同行
24	病院	2月25日	感染管理認定看護師	2月26日	訪問指導 ①情報収集 ・陽性者の経緯 ・感染経路の把握 ・感染対策について ②質疑応答 ・組織体制について ・陽性者の観察について ・今後の患者のリハビリ時の感染対策 ・個人防護具について ③病棟ラウンド ・ゾーニング・感染防止対策について ・防護具の着脱方法の説明 ・職員のメンタル相談について	DMATの医師と共に指導 看護協会常務理事 （認定看護管理者） 同行
25	高齢者福祉施設	3月9日	感染管理認定看護師	3月11日	保健センターにて情報共有 訪問指導 ①現地ヒアリング ・コロナ陽性入所者の状況 ・ケアスタッフの状況 ②感染対策実施状況の確認 ③感染対策指導 ・入所者への対応 ・ケアスタッフへの対応 ④施設からの質問	DMATの医師と共に指導 看護協会常務理事 （認定看護管理者） 同行
				3月12日	訪問指導 ①情報共有 ②感染対策指導 ・ゾーニング ・配膳・下膳 ・PPE着脱 ・その他	
				4月6日	電話指導 ①現状評価 ・状況確認 ②指導内容 ・体制の継続	

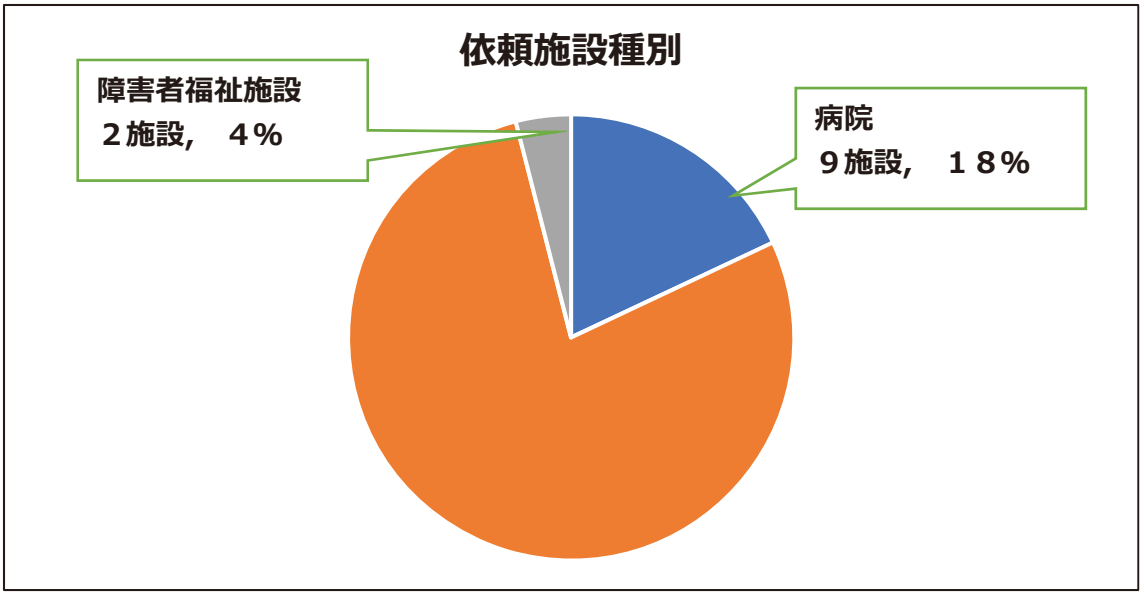
	依頼施設	依頼日	派遣看護師	派遣日	指導内容・支援内容	備考
26	高齢者福祉施設	3月23日	感染管理認定看護師	3月24日	保健所にて情報共有 訪問指導 ①現地ヒアリング(看護師より) ②感染対策指導 ・ゾーニング ・廃棄物・リネンの対応 ・入所者の健康観察とその記載方法 ③ラウンド指導	DMATの医師と共に指導 看護協会看護職員 (認定看護管理者) 同行
				3月25日	訪問指導 ①状態悪化者の救急搬送準備と同乗	
				3月30日	訪問指導 ①感染予防対策の確認 ②クラスター解除日の確認 ③非感染者の入浴方法と清掃	
				4月8日	訪問指導 ①クラスター終息後の対応 ・共用部分での感染対策 ・面会者への対応 ・通所サービスの利用 ②クラスター解除日の確認 ③非感染者の入浴方法と清掃	
27	高齢者福祉施設	4月1日	感染管理認定看護師	4月3日	訪問指導 ①スタッフルーム・4階の視察 ②ゾーニング ③居室・トイレ・浴室の換気状況の確認 ④体制の整備 ⑤保健センターと有症者の情報共有	DMATの医師と共に指導 看護協会常務理事 (認定看護管理者) 同行
				4月4日	訪問指導 ①濃厚接触者のゾーニング ②スタッフへのゾーニングの指導 ③洗濯物・リネン・廃棄物　の指導 ④PPE着脱指導 ⑤人員配置・体制について管理者に依頼 ⑥情報伝達と情報の共有	
				4月5日	訪問指導 ①感染性廃棄物の管理 ②ゾーニングと活動内容の確認 ③PPE着脱指導 ④職員・入居者の健康管理の確認 ⑤有症状者選択の有無と周知の確認	
				4月6日	訪問指導 ①PPE着脱と手指衛生の確認 ②ゾーニングの確認 ③食事場面での実際の指導	
				4月8日	訪問指導 ①防護具の補充システムの運用 ②職員・入居者の健康管理の確認	
28	高齢者福祉施設	4月12日	感染管理認定看護師	4月14日	訪問指導 ①情報共有 ②施設内視察 ③問題点の洗い出し ・PPE着脱場面が不適切 ・過剰な感染対策で職員のストレスや 不安感の増強 ④改善策 ・ゾーニング変更の提案 ・職員の休憩環境 ・過剰なPPEの解除と標準予防策の知 識の向上	DMATの医師と共に指導 看護協会常務理事 (認定看護管理者) 同行
29	高齢者福祉施設	4月15日	感染管理認定看護師	4月16日	保健センターにて情報共有 訪問指導 ①コホート隔離とゾーニング ②陰性者や濃厚接触者の感染対策 ③感染廃棄物の取り扱い方法 ④食器・リネン類の消毒方法 ⑤個人防護具の着脱方法	DMATの医師と共に指導 看護協会常務理事 (認定看護管理者) 同行
				4月19日	メール対応 寝具の消毒方法について指導	
				4月22日	メール対応 ・寝具の消毒方法について指導	

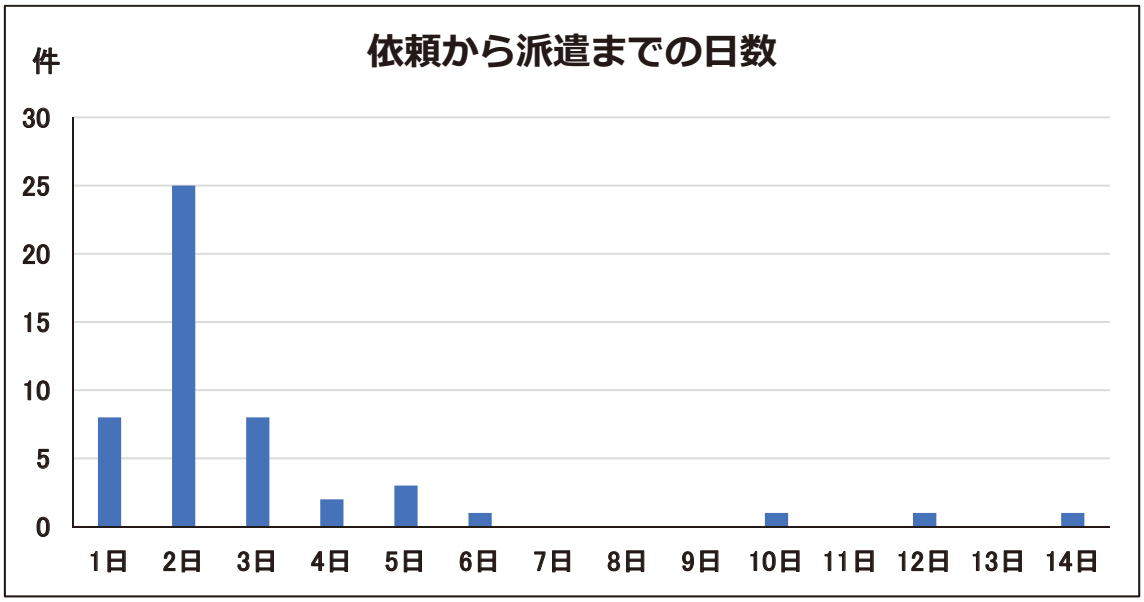
	依頼施設	依頼日	派遣看護師	派遣日	指導内容・支援内容	備考
30	病院	4月15日		4月17日	保健所にて情報共有 訪問指導 ①状況報告、質疑応答 ②病床ラウンド ・ゾーニング指導 ・ポータブルトイレ処理方法指導 ・配膳カートの取り扱い指導 ・職員の動線や勤務配置の指導	DMATの医師と共に指導 看護協会常務理事 （認定看護管理者） 同行
				4月19日	電話相談 院長よりワクチン接種協力病院としての業務遂行について 訪問相談 ①病棟ゾーニングの確認 ②質疑応答 ・ワクチン接種について ・入院患者のリハビリの再開について ・フェイスシールドの着用期間について ・食器・リネン・廃棄物の取り扱いについて ・レントゲン検査について ・制限体制の継続について	
31	高齢者福祉施設	4月15日	感染管理 認定看護師	4月17日	訪問指導 ①事例概要・リスト把握 ・ラインリストの作成依頼 ・入居者の介護度・認知度の把握 ・入居者と職員の健康状態の報告体制の構築 ②施設内ゾーニングとルール提案 ・施設内のゾーニングの見直し ・濃厚接触者の対応方法 ・個人防護具の着脱する場所の決定 ③感染予防策の指導 ・個人防護具の着脱指導 ・エアロゾルが発生するケアの有無の確認と対応方法 ・環境清掃の方法を指導 ・職員の休憩中の留意事項とテーブル配置 ・面会について ④入居者の搬送ルート ・状態悪化時の搬送依頼の確認	DMATの医師と共に指導 看護協会看護職員 （認定看護管理者） 同行
32	高齢者福祉施設	4月28日	感染管理 認定看護師	4月30日	保健所と情報共有 訪問指導 ①施設内設備と日常スケジュールの確認 ②初発患者及び陽性者の状態確認 ③感染対策の実施状況の目視確認 ・ゾーニング ・手指衛生 ・環境 ④衛生材料の管理方法及び使用状況確認 ⑤環境清掃、廃棄物・リネン処理方法の確認 ⑥質疑応答	DMATの医師と共に指導 看護協会常務理事 （保健師）同行
33	障害者施設	4月28日	感染管理 認定看護師	5月1日	保健所と情報共有 訪問指導 ①施設内ゾーニングの確認 ②陽性者及び濃厚接触者の状態確認 ③感染対策の実施状況の目視確認 ・防護服の着脱指導 ④衛生材料の管理方法及び使用状況確認 ⑤環境清掃、廃棄物・リネン処理方法の確認 ⑥人材マネジメント ⑦質疑応答	DMATの医師と共に指導 看護協会専務理事 （認定看護管理者） 同行
				5月6日	電話対応 ・状況確認 ・感染対策の継続指導	
34	高齢者福祉施設	4月30日	感染管理 認定看護師	5月2日	保健所と情報共有 訪問指導 ①施設内の状況を職員から情報収集 ②エリア内ゾーニングの確認 ③環境管理、ファシリティの状況確認と指導 ・環境整備と清掃 ・消毒方法と薬剤について ④感染対策指導 ・ゾーニングの見直し ・防護服着脱方法の再確認 ・手指衛生の徹底 ・介護職員への感染対策の周知・徹底	DMATの医師と共に指導 看護協会会長 （認定看護管理者） 同行

	依頼施設	依頼日	派遣看護師	派遣日	指導内容・支援内容	備考
35	病院	5月1日	感染管理 認定看護師	5月3日	①ゾーニングの確認と指導 ②防護具着脱の確認と指導 ③防護具の管理方法及び使用状況確認 ⑤濃厚接触者での感染対策指導	DMATの医師と共に指導 看護協会常務理事 （認定看護管理者） 同行
36	高齢者福祉施設	5月3日	感染管理 認定看護師	5月5日	保健所にて情報共有 訪問指導 ①情報共有 ②感染対策状況の確認・指導 ・消毒薬剤 ・ゾーニング ・動線 ・PPE ・休憩方法 ・リネン管理方法	DMATの医師と共に指導 看護協会常務理事 （認定看護管理者） 同行
37	高齢者福祉施設	5月5日	感染管理 認定看護師	5月7日	①施設内のゾーニング ・ゾーニングの確認 ・感染性廃棄物の廃棄方法、経路の確認 ・休憩エリアの確保の提案 ②感染対策実践状況の確認 ・PPE着脱方法の確認・指導 ③利用者の健康観察方法の確認 ③職員の労務管理の確認・指導	DMATの医師と共に指導 看護協会常務理事 （認定看護管理者） 同行
				5月12日	①感染対策実践状況の確認 ・前回検討した事項の確認 ・医療廃棄物の搬送経路確認 ・PPE着脱方法の確認・指導 ②利用者の健康観察方法の確認 ③職員の労務管理の確認・指導	
				5月19日	電話相談 対応解除の検討	
38	高齢者福祉施設	5月6日	感染管理 認定看護師	5月9日	保健所と情報共有 訪問指導 ①感染者と感染対策についての状況確認と検討 ・感染者の確認 ・ゾーニングの検討 ・面会・デイサービスの検討 ・夜勤勤務の検討 ②陽性者及び濃厚接触者の状態確認 ③感染対策の実施状況の目視確認 ・防護服の着脱指導 ④衛生材料の管理方法及び使用状況確認 ⑤環境清掃、廃棄物・リネン処理方法の確認 ⑥人材マネジメント ⑦質疑応答	DMATの医師と共に指導 看護協会看護職員 （認定看護管理者） 同行
39	高齢者福祉施設	5月6日	感染管理 認定看護師	5月8日	①施設内の現状確認 ・施設内状況確認 ・感染状況確認 ②現状分析 ・感染対策状況と今後の感染状況 ③課題 ・ゾーニングの提案 ・清掃方法の提案 ④対応方針 ・状況の共有 ・手指衛生・PPE着脱指導 ・厨房のワンウェイ指導	DMATの医師と共に指導 看護協会看護職員 （認定看護管理者） 同行
				5月10日	感染対策確認 ①手指衛生・PPE着脱 ②ゾーニング ③ケアの実際から疑問点 ④厨房の対応	
				5月20日	保健所と同行 感染対策確認 ①手指衛生・PPE着脱 ②ゾーニング ③厨房の対応 ④環境清掃 ⑤疑問点・不明点	

	依頼施設	依頼日	派遣看護師	派遣日	指導内容・支援内容	備考
40	病院	5月7日	感染管理 認定看護師	5月10日	保健所にて情報共有 訪問指導 ①情報共有・リスク因子評価 ②病棟ラウンド ・感染対策状況の確認・指導 ③アフターミーティング ④透析室視察	DMATの医師と共に指導 看護協会看護職員同行
				5/10～15	5/10　22:00～22:10　当日活動サマリー（泰玄会病院） 5/11　9:00～9:10　業務報告書作成(看護協会) 　　14:40～14:50　臨時会議予定と参加の調整 5/12　22:15～22:35　活動サマリー（泰玄会病院） 5/14　14:20～14:30　助言メール（泰玄会病院） 5/15　12:00～12:30　活動報告書作成（看護協会）	
				5月12日	①臨時感染対策委員会 ・情報共有 ・予測される感染拡大の原因 ・今後の予定 ・クラスター対策派遣を受けて見直している対策 ・空調につて ・長中期対策 ②看護部ミーティング ・情報伝達方法 ・空調問題 ・職員メンタルヘルス ・感染発生時の初動対策 ・終息宣言までの目標	
				5/16～31	メール対応	
				5月26日	施設にて対応 ラウンド準備 ICTメンバーと共にラウンドし感染対策指導 ・ナースステーション ・フロア ・病室	
41	高齢者福祉施設	5月12日	感染管理 認定看護師	5月15日	訪問指導 ①施設職員と情報共有 ・転院調整の確認 ・ゾーニングの提案 ・状況に応じたPPE提案 ・処置やケア時の飛沫防止 ・質疑応答 ②各階（2階3階）エリアのゾーニングとPPE着脱指導	DMATの医師と共に指導 看護協会常務理事 （認定看護管理者） 同行
42	高齢者福祉施設	5月13日	感染管理 認定看護師	5月16日	訪問指導 ・情報共有 ・ゾーニング変更案の提言 ・防護服の説明とゾーンの確認、物品配置の説明と変更 防護服の着脱指導、実技チェック	DMATの医師と共に指導 看護協会看護職員 （認定看護管理者） 同行
43	高齢者福祉施設	5月19日	感染管理 認定看護師	5月21日	訪問指導 ・発生状況のききとり ・今後の対応についてのディスカッション ・陽性患者の対応指導 ・陽性職員への復帰基準やメンタルフォローの対応について ・発生病棟のラウンド 　現場での実際の行動チェックと指導	DMATの医師と共に指導 看護協会看護職員 （認定看護管理者） 同行
44	高齢者福祉施設	5月20日	感染管理 認定看護師	5月23日	保健所にて打ち合わせ 現地での打ち合わせ、現状把握 ①ゾーニングの現状 ②個人防護具の使用状況 ③施設内ラウンド ゾーニング、個人防護具、環境整備、手指消毒の重要性、感染性廃棄物について	DMATの医師と共に指導 看護協会専務理事 （認定看護管理者） 同行
45	高齢者福祉施設	5月21日	感染管理 認定看護師	5月23日	保健所内にて情報共有 訪問指導 ①施設内構造と現状対策の確認 ②エリア内ゾーニングの確認 ③手指消毒、PPEの使用方法の確認 ④環境整備、洗濯、廃棄物処理方法の確認 ⑤体調管理の再確認	DMATの医師と共に指導 看護協会常務理事 （認定看護管理者） 同行

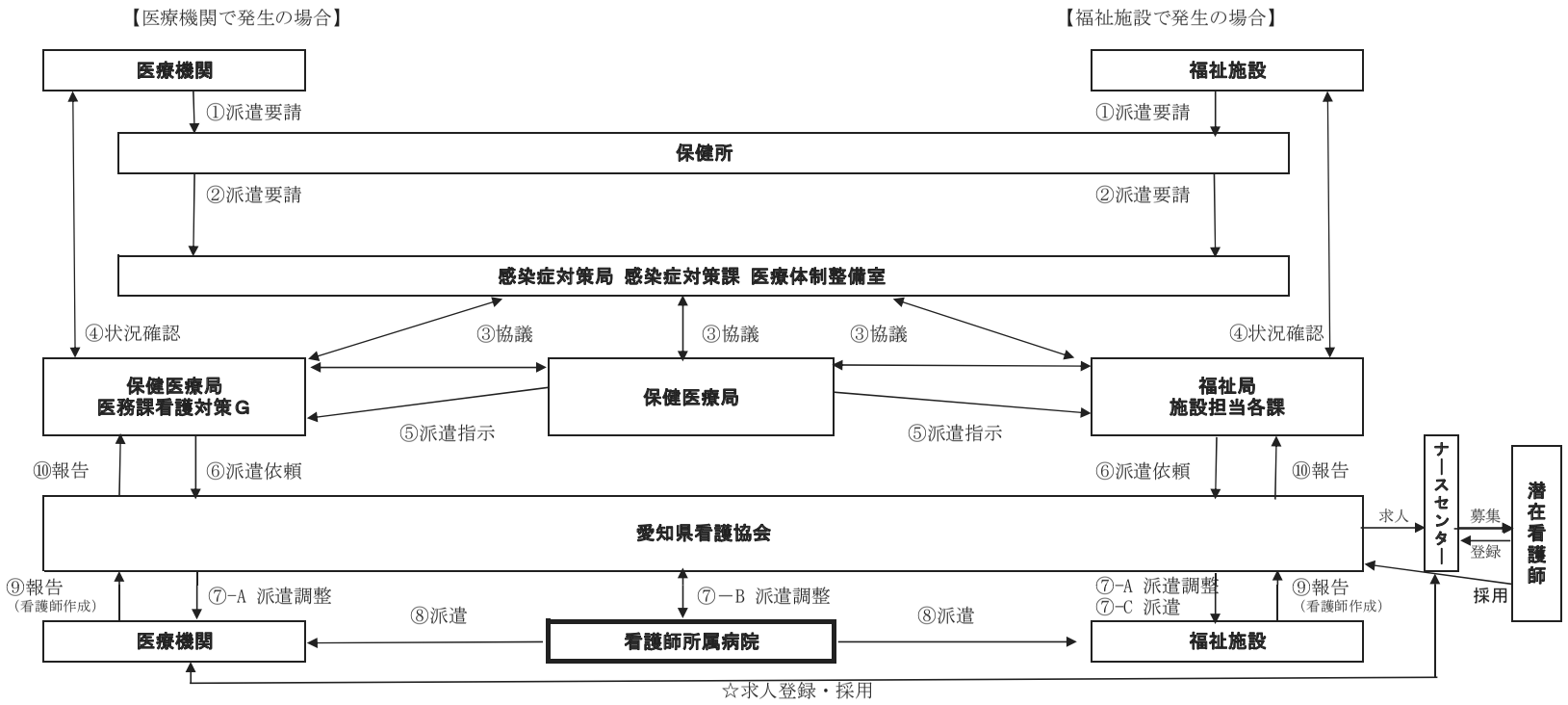
	依頼施設	依頼日	派遣看護師	派遣日	指導内容・支援内容	備考
46	高齢者福祉施設	5月25日	感染管理認定看護師	5月27日	①保健所内での事前情報の共有 ②現状の聞き取り、など情報収集 ③現場ラウンド ④終了後今後についての検討	DMATの医師と共に指導 看護協会看護職員 （認定看護管理者） 同行
47	高齢者福祉施設	5月25日	感染管理認定看護師（愛知県看護協会職員）	5月29日	保健所内にて情報共有 訪問指導 ①施設内構造と現状対策の確認 ②ゾーニングの再確認 ③手指消毒、PPEの使用方法の確認 ④環境整備、洗濯、廃棄物処理方法の確認 ⑤職員の勤務体制確認 ⑥質疑応答	DMATの医師と共に指導
48	高齢者福祉施設	5月28日	感染管理認定看護師	5月31日	①保健所と情報共有 ②施設での活動 ・共有スペースの整備 ・ゾーニングの確認と支援 ・感染対策状況の確認と支援	DMATの医師と共に指導 看護協会看護職員同行
				6月3日	訪問指導 ①経過聴取と質疑 ②各フロア感染対策の確認 ・ゾーニング ・個人防護具 ・感染性廃棄物 ・PHSやPCの取り扱い ・スタッフの心のケア	
49	高齢者福祉施設	5月25日	感染管理認定看護師（愛知県看護協会職員）	5月30日	保健所と情報共有 訪問指導 ①施設内構造と現状対策の確認 ②ゾーニングの再確認 ③手指衛生、PPE使用方法の確認 ④環境整備、洗濯、廃棄物処理方法の確認 ⑤体調不良のある入所者の対応相談	DMATの医師と共に指導
50	高齢者福祉施設	5月31日	感染管理認定看護師	6月2日	・感染者の状況確認 ・ゾーニングの確認 ・感染者と非感染者の管理状況の確認 ・個人防護具類の使用状況の確認 ・廃棄物の管理状況の確認 ・職員の休息、健康状況の確認	看護協会常務理事 （認定看護管理者） 同行
51	高齢者福祉施設	6月7日	感染症看護専門看護師 感染管理認定看護師	6月9日	保健センターにて打ち合わせ 訪問指導・現場での聞き取りと指導 ・ゾーニング ・防護服の着脱方法、場所 ・手指衛生について ・リネンの取り扱い	DMATの医師と共に指導 看護協会看護職員 （認定看護管理者） 同行
				6月14日	訪問指導 ・ゾーニングの見直し ・食事 ・入浴 ・清掃 ・手指衛生	


依頼施設種別
障害者福祉施設
２施設，　４％
病院
９施設，　１８％


依頼から派遣までの日数
件
30
25
20
15
10
5
0
1日
2日
3日
4日
5日
6日
7日
8日
9日
10日
11日
12日
13日
14日

資料Ⅱ-2-(1)

新型コロナウイルス感染症の患者クラスター発生時の看護師等派遣スキーム



○県より派遣依頼があった場合、愛知県看護協会より医療機関・福祉施設へ出向き状況確認及び派遣調整に必要な情報収集を行う。（⑦-A）

【第１陣（先遣活動）】

・認定看護師等の派遣となるため、クラスターが発生した地域を勘案し、認定看護師等が所属する病院に、派遣についての調整を行う。（⑦－B）

・その際、当該病院に所属する認定看護師の人数や当該病院で受け入れている感染症患者等も勘案し、当該病院の通常業務に支障が生じない範囲で協力を依頼する。

・認定看護師等が所属する病院より、感染管理認定看護師、感染症専門看護師を選任してもらい、派遣する。（⑧）

【第２陣（看護応援活動）】

・看護師等の派遣となるため、依頼を受けた後、愛知県看護協会にて潜在看護師を臨時雇用し、派遣する。（⑦-C）

・ただし、医療機関にてクラスター発生の場合は、派遣法上、医療機関への派遣ができないため、ナースセンターへの求人登録を説明する。（☆）

・また、潜在看護師の応募がない場合や、医療機関への求人応募がない場合は、病院に所属する看護師の派遣協力を依頼する場合もある。

＜認定看護師の派遣依頼の順番＞

1. 感染連携1. 2施設の親病院へ依頼
2. 上記が困難な場合は、地区支部内の病院より依頼
3. 上記が困難な場合は、県内の認定看護師の多い病院へ依頼する

資料Ⅱ－２－（２）

クラスター発生時の看護師派遣のフロー（協会内）

クラスター発生時の看護職派遣スキーム（県作成）参照
保健医療局医務課看護対策Ｇ又は福祉局施設担当各課

↓ 県担当者より電話連絡および派遣依頼書のメール添付
クラスター発生時の看護師等派遣依頼書（情報確認シート）

クラスター発生施設への派遣看護師調整

1先遣活動（第１陣）

看護師派遣依頼・調整
①看護部長に連絡・依頼（電話）
・感染対策１・２連携病院の親病院
・不可の場合、発生施設の地区支部内の病院
・不可の場合、県内の病院　の順で依頼
②派遣可能施設及び派遣看護師へ依頼
（所属長・本人へ公文書）
③様式１「看護活動業務報告書」送付

↓
認定看護師等所属病院
↓ 派遣【看護協会看護師同行】
クラスター発生施設（医療機関・福祉施設）

1．先遣活動（第１陣）
＜派遣看護師＞感染管理認定看護師・感染症看護専門看護師・認定看護管理者
＜派遣人数＞看護師１名～
＜派遣期間＞１週間（オンライン指導を含む）
＜業務内容＞感染管理・感染看護・勤務表指導等、報告書記載

2．看護応援活動（第２陣）

①潜在看護師募集 → ナースセンター → 求人
②医療機関へ協力依頼 → 医療機関 → 協力者の連絡

愛知県看護協会
↓ 潜在看護師雇用派遣　↓ 派遣
クラスター発生施設（医療機関・福祉施設）

2．看護応援活動（第２陣）
＜派遣看護師＞潜在看護師（非常勤職員）＜派遣人数＞看護師１名～
＜派遣期間＞２週間
＜業務内容＞看護通常業務、報告書記載

↓ 実施報告：**様式１「看護師活動業務報告書」提出（訪問日毎）**

愛知県看護協会

↓ **終了時**報告：**様式１「看護師活動業務報告書」提出**
様式２「クラスター派遣活動報告書」提出
様式３「費用明細書」提出

愛知県　保健医療局医務課看護対策Ｇ又は福祉局施設担当各課

3 看護師養成所 実習補完事業

1） 目的

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、看護師等養成所における医療機関等での臨地実習が中止されている実情を踏まえ、学内実習に代替した場合にも学生が同等の知識と技能を修得することができるよう、多職種連携ハイブリッドシミュレーターSCENARIO（以下シミュレーターとする）を整備し、各養成所を支援する。

2） 対象

令和 2 年度：看護師養成所 38 校

令和 3 年度：看護師養成所 36 校

3） 期間

令和 2 年 11 月 10 日～令和 3 年 3 月 31 日

令和 3 年 4 月 1 日～令和7年 3 月 31 日（予定）

4） 事業内容

（1）資器材の選定と整備

臨地実習と同等の知識と技能の修得を図るためには、患者により近い設定ができるシミュレータが必要である。シナリオが多く掲載され、状況に応じてバイタルサインが変化するなど、患者に見立てることが可能で、学習内容に応じた様々な場面を想定できるシミュレーターとして、「多職種連携ハイブリッドシミュレーターSCENARIO」 を選定し、8 台を購入・整備した。

（2）実習補完事業説明会の実施

① 全体説明会

開催回数：1 回

開催日：令和 2 年 11 月 19 日(木)

説明内容：実習補完事業の制度の目的

ミュレーターの操作方法

看護協会配置のシミュレーターの利用方法

参加者：37 名（県内看護師養成所 15 校の教員 23 名、愛知県保健医療局医務課 3 名、看護協会教育センター職員 11 名）

② グループ別説明会

開催回数：7 回

開催期間：令和 2 年 11 月 10 日(火)～11 月 12 日（木）

説明内容：シミュレーターの操作方法

各校の使用期間

各校間でのシミュレーター移送について

会場及び参加者

ｸﾞﾙｰﾌﾟ	開催場所	参加校数	参加人数
A	名古屋市医師会看護専門学校	5 校	9 名
B	愛知県立総合看護専門学校	4 校	8 名
C	愛生会看護専門学校	5 校	10 名
D	愛北看護専門学校	5 校	8 名
E	西尾市立看護専門学校	5 校	8 名
F	蒲郡市立ソフィア看護専門学校	3 校	5 名
G	豊橋市准看護学校	5 校	8 名
	合計	32 校	56 名

(3)シミュレーター(8台)の運用について

①愛知県看護協会(高辻センター講堂)に設置

1 台:自校の使用期間以外に各校が使用したい場合に看護協会にて使用する。また、2 台使用したい場合に貸出対応する。

②県内看護師養成所への貸し出し

7 台:県内看護師養成所を 7 グループに分け、各グループに 1 台ずつ貸出す。

・各グループに「取りまとめ校」を設置し、グループ内の調整及び最終設置場所の確保を依頼した。

・看護師養成所を所管する愛知県医務課が行った希望調査を基に、各校の使用期間を決定した。

・グループ内で順番に移動配置しながら、校内実習で使用する。

(4)管理及び相談対応について

各学校でのシミュレーター―の管理状況や不具合について、看護協会教育センターで対応する。

5)看護師養成所　実習補完事業　実績

(1)令和 2 年度の実績

実習補完事業参加者は延べ 1,532 人であった。グループ内配置用の参加者の内訳は2年生 684 人(47.0%)1年生 373 人(26.6%)3 年生 147 人(10.1%)4年生 12 人(0.08%)その他 237 人(16.3%)であった。本来の事業目的の対象は 3、4 年生(最終学年)であったが、1 校の使用期間が 3 週間と短く、また、新型コロナウイルス感染症の影響により臨地実習や講義日程が変更となり、予定していた学年以外での活用になった為と思われる。

学年別活用状況は、1 年生は基礎看護学方法論(フィジカルアセスメント、バイタルサイン測定)基礎看護学実習Ⅰ(バイタルサイン測定)Ⅱ(フィジカルアセスメント)に活用し、2 年生は成人看護学実習Ⅰ・Ⅲ、成人看護学方法論Ⅰ、老年看護学実習Ⅰでの事例として活用し、3 年生は母性看護学実習(バイタルサイン測定、帝王切開術前準備)、緊急時の対応、補講に活用し、それぞれの科目に対し補完することができた。教員においてはシミュレーター活用のための学習会や教材の検討に使用していた。

新型コロナウイルス感染症対策のため、看護協会へ来所し、シミュレーターを活用する学校は 1 校もなかったが、効率的かつ効果的に研修を進めるために貸出を希望する学校が 3 校あった。

各学校からの意見として、「これまでのシミュレーターに比べ、モデル人形の状態変化が読み取りやすく、より臨地に近い体験ができた。」「搭載シナリオを活用し、卒業前の学生にブリーフィング→シミュレーション→デブリーフィン

グと連動して行う、シミュレーション教育を行った。学生はリアル感があり、卒業後の臨床の実際がイメージできた。しかし、時間の都合上、繰り返しての活用ができなかった。また、1 日で多人数での使用は時間の制約があり、全員が全てを体験ができないため、少人数での活用が今後の課題である。」「事例を選んで3年生対象に実施した。4名1Gで実施し、そのうち 1 名を新人看護師として動いて貰った。入職後、患者の様子が変だと気づく事、その後どう対応するのか(先輩看護師への報告のタイミングと内容等)についてディスカッションをした。卒業間近であり、自分が新人として動けるか、という思いで真剣に取り組めていたと思う。また、この時期(国家試験後)に実施する意味はある」「新カリキュラムの中では、到達目標がシミュレーターで行えるようになる技術も多い。高額なシミュレーターを学校でそろえることの難しさもあるため、今回のような方法があると教育施設だけでなく、中小規模の病院の新人教育でも活用できる」等の意見があった。

使用期間は短かったが、参加人数や意見から、学内実習でシミュレーターを活用することで、目的であった実習補完は概ね達成できたと考える。

(2)令和 3 年度の実績

前年度同様に、県内看護師養成所を 7 グループに分け、各グループの取りまとめ校が中心となり、各校が利用したい時期を調整し 1 年間のスケジュールを決め、4 月より実施している。

4 月～6 月の参加者は延べ 985 人であり、内訳は 1 年生 187 人(20.9%)、2 年生 322 人(36%)、3 年生 342 人(38.2%)、その他 44 人(0.5%)であった。

学年別活用状況は、1 年生はフィジカルアセスメント、バイタルサイン測定、2 年生はバイタルサイン測定、一般状態の観察、基礎看護学実習Ⅱ、成人看護学(術前・術後観察)、3 年生は成人看護学実習前の学習に活用している。教員は学生と共に参加し、教員だけで学習会を行う等の活用はなかった。

6)資料

(1)令和 2 年度看護師養成所実習補完事業シミュレーター運用要領
(2)令和 3 年度看護師養成所実習補完事業シミュレーター運用要領
(3)全体説明会風景

令和2年度看護師養成所実習補完事業　グループ・参加校

グループ	取りまとめ校		学校名	11月後半	12月前半	12月後半 1月前半	1月後半	2月前半	2月後半	3月前半	3月後半	3月末
A		A-1	名古屋市医師会看護専門学校	使用								
		A-2	まつかげ看護専門学校		使用							
	○	A-3	独立行政法人労働者健康安全機構 中部労災看護専門学校			使用						戻
		A-4	えきさい看護専門学校				使用					
		A-5	独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院附属看護専門学校					使用				
B	○	B-1	愛知県立総合看護専門学校	使用								戻
		B-2	八事看護専門学校		使用							
		B-3	名古屋医専			使用						
		B-4	東海医療科学専門学校					使用				
		B-5	公立西知多看護専門学校						使用			
		B-6	中部看護専門学校								使用	
C		C-1	愛生会看護専門学校		使用							
		C-2	名古屋平成看護医療専門学校			使用						
		C-3	名鉄看護専門学校				使用					
		C-4	公立瀬戸旭看護専門学校					使用				
	○	C-5	名古屋市立中央看護専門学校						使用			戻
		C-6	愛知総合看護福祉専門学校								使用	
D		D-2	愛知県厚生農業協同組合連合会 愛北看護専門学校	使用								
		D-1	津島市立看護専門学校		使用							
	○	D-3	公立春日井小牧看護専門学校			使用						戻
		D-4	尾北看護専門学校					使用				
		D-5	一宮市立中央看護専門学校						使用			
E		E-1	西尾市立看護専門学校		使用							
		E-2	半田常滑看護専門学校			使用						
	○	E-3	愛知県厚生農業協同組合連合会 更生看護専門学校					使用				戻
		E-4	西尾市医師会准看護学校						使用			
		E-5	藤田医科大学看護専門学校							使用		
		E-6	安城市医師会 安城碧海看護専門学校								使用	
F		F-1	蒲郡市立ソフィア看護専門学校	使用								
	○	F-2	岡崎市立看護専門学校			使用						戻
		F-3	豊田地域看護専門学校				使用					
		F-4	愛知県厚生農業協同組合連合会 加茂看護専門学校						使用			
		F-5	トヨタ看護専門学校							使用		
G		G-1	豊橋准看護学校	使用								
	○	G-2	県立愛知看護専門学校		使用							戻
		G-3	東三河看護専門学校				使用					
		G-4	豊橋市立看護専門学校					使用				
		G-5	穂の香看護専門学校								使用	

令和２年度 看護師養成所　実習補完事業　実績

＜グループ内配置用＞

	学校名	使用月日	参加学生数					計	授業内容
			1年	2年	3年	4年	その他		
A	名古屋市医師会看護専門学校	11/12					3	3	教員同士活用方法について検討
	まつかげ看護専門学校	12/21					10	10	教員がシミュレーターの活用について説明
	中部労災看護専門学校	12/28			38			38	総合実習の急変時のアセスメント
	えきさい看護専門学校	1/22					12	12	シミュレーターの概要の情報共有
	中京病院付属看護専門学校	2/9					2	2	シミュレーターを用いた授業検討
		2/12					2	2	成人看護学での事例学習の検討
B	愛知県立総合看護専門学校	11/12	40					40	基礎看護学方法論Ⅳ（フィジカルアセスメント）バイタルサインの測定
		11/25			10			10	成人看護学実習Ⅰ（生命危機状態にある患者の看護）心房細動を起こした患者の観察
		11/26			10			10	成人看護学実習Ⅰ（生命危機状態にある患者の看護）心房細動を起こした患者の観察
	八事看護専門学校	12/9	19					19	基礎看護学実習前の学内演習：患者の観察
	名古屋医専	12/7	38					38	基礎看護学実習Ⅰ実習オリエンテーション（バイタルサイン測定）結滞のある患者の脈拍・血圧測定
		12/12	10				1	11	基礎看護学実習Ⅰ実習オリエンテーション（バイタルサイン測定）結滞のある患者の蝕知・血圧測定
		12/13					20	20	体験入学　脈拍・呼吸音・腸蠕動音、臨死シナリオ
		1/14		22				22	成人看護学方法論Ⅰ術後1日目全身状態の観察、呼吸器合併症徴候のある患者
		1/18				6		6	母性看護学実習の学内演習：バイタル測定、帝王切開の術前準備
		1/19				6		6	母性看護学実習の学内演習：バイタル測定、帝王切開の術後の観察
	東海医療科学科学専門学校	2/2	20					20	バイタルサイン測定・フィジカルアセスメント・コミュニケーション
		2/3	19					19	バイタルサイン測定・フィジカルアセスメント・コミュニケーション
		2/4	20					20	バイタルサイン測定・フィジカルアセスメント・コミュニケーション
		2/5	19					19	バイタルサイン測定・フィジカルアセスメント・コミュニケーション
		2/8	20					20	バイタルサイン測定・フィジカルアセスメント・コミュニケーション
		2/9	19					19	バイタルサイン測定・フィジカルアセスメント・コミュニケーション
		2/10	20					20	バイタルサイン測定・フィジカルアセスメント・コミュニケーション
	公立西知多看護専門学校	3/1			16			16	シミュレーター体験学習会（補講）
		3/2			13			13	シミュレーター体験学習会（補講）
	中部看護専門学校	3/22					1	1	勉強会
		3/25					1	1	勉強会
		3/26					6	6	勉強会

C	愛生会看護専門学校	11/25	33					33	看護過程と臨床判断（初期把握）
		12/17	33					33	高齢者の排泄障害の看護
	名古屋平成看護医療専門学校	12/17		31			6	37	成人看護学実習Ⅰ事例（慢性呼吸不全、病日3日目）の観察シミュレーション、事例に応じた観察・アセスメント
		12/18		31			6	37	成人看護学実習Ⅰ事例（慢性呼吸不全、病日4日目）の観察シミュレーション、事例に応じた観察・アセスメント
	名鉄看護専門学校	1/18		40				40	成人看護学実習Ⅰ（状態変化の観察と予測し対応する必要性、異常時の対応について学ぶ）
		1/21		41				41	老年看護学実習Ⅰ（疾患に対する症状の観察、対応、報告について学ぶ）
		1/22			1			1	統合実習の補習対象者に臨床判断力のトレーニング
		1/28		1				1	老年看護学実習Ⅰ（疾患に対する症状の観察、対応、報告について学ぶ）補習対象者
	公立瀬戸旭看護専門学校	2/2					3	3	シミュレーターの説明（事例の紹介）
		2/5					11	11	シミュレーターの説明（事例の紹介）
		2/8		37			2	39	シミュレーターの機能説明と体温測定やSPO2測定の実施
		2/9					11	11	シミュレーターの説明（事例の紹介）
		2/12		39			1	40	シミュレーターの機能説明と体温測定やSPO2測定の実施
	名古屋市立中央看護専門学校	2/19					8	8	使用方法の説明
		2/22					4	4	使用方法の説明
	愛知総合看護福祉専門学校	3/15		21			5	26	基礎看護学実習
		3/17		12			3	15	基礎看護技術の技術演習
		3/18		11			3	14	基礎看護技術の技術演習
		3/24		6			1	7	基礎看護技術の技術演習
D	愛北看護専門学校						3	3	教員の説明会で使用
	津島市立看護専門学校	12/16			27			27	緊急時の対応
	公立春日井小牧看護専門学校	1/7		35				35	成人看護学演習（技術実習）
	尾北看護専門学校	2/16	20					20	基礎看護学実習Ⅱ　フィジカルアセスメント
		2/17	20					20	基礎看護学実習Ⅱ　フィジカルアセスメント
	一宮市立中央看護専門学校	2/24			32		10	42	卒業時看護技術到達度演習に使用する事例を用いてアセスメント力向上につとめた
E	西尾市立看護専門学校	12/9		34				34	実習前の臨床判断を学ぶ：ぜんそく患者の看護
	半田常滑看護専門学校	12/21					8	8	教員への活用方法の説明と実際
		1/6		6			1	7	領域別実習前の技術練習（バイタルサイン測定、症状の観察、アセスメント）
		1/13		3				3	成人看護学実習Ⅲ 学内実習 （状態の観察とアセスメント）
		1/14		3				3	成人看護学実習Ⅲ 学内実習 （状態の観察とアセスメント）
		1/15		2				2	成人看護学実習Ⅲ 学内実習 （状態の観察とアセスメント）

	更生看護専門学校	2/5		4			2	6	学内実習
		2/8		5			1	6	学内実習
		2/9		5			1	6	学内実習
	藤田医科大学看護専門学校	3/1				37	3	40	術後患者の呼吸器合併症の観察
		3/2				37	3	40	はじめて抗がん剤治療を受ける患者の観察
		3/3				37	3	40	高熱患者の脱水症状の観察
		3/5					5	5	次年度に向けての教員間の打合せ
		3/6					5	5	次年度に向けての教員間の打合せ
	安城碧海看護専門学校	3/10				35		35	
F	蒲郡市立ソフィア看護専門学校	11/20					6	6	シミュレーター活用の学習会
		11/26					3	3	成人看護学の事前準備
		11/27		38				38	成人看護学（疾患を持つ患者のフィジカルアセスメント）の演習
		11/30					5	5	シミュレーター活用の学習会
		12/7		38				38	成人看護学の演習
		12/8		38				38	成人看護学（疾患を持つ患者のフィジカルアセスメント）のグループワーク
	岡崎市立看護専門学校	12/17		36				36	成人看護学実習前の事前準備として、成人看護学方法論Ⅴ周手術期看護におけるシミュレーション演習に使用
	豊田地域看護専門学校	1/27		5				5	臨地実習の学内日にフィジカルアセスメントの学習
		2/4		5			2	7	臨地実習の学内日にフィジカルアセスメントの学習
		2/5					2	2	教員が次年度の授業に向けた教材研究
	加茂看護専門学校	2/18					3	3	教員間での使用方法の共有
		2/24					6	6	教員間で教材検討（成人・在宅）
		3/2					8	8	教員間で教材検討（老年・在宅）
	トヨタ看護専門学校	3/29					25	25	臨地実習指導者へシミュレーター教育の紹介で利用
G	豊橋准看護学校	11/18		5				5	成人看護学実習
		11/19		5				5	成人看護学実習
		11/26		4				4	成人看護学実習
	県立愛知看護専門学校	12/9		38				38	手術療法を受ける人の看護
		12/16		35				35	手術療法を受ける人の看護
	東三河看護専門学校	1/13	8				1	9	呼吸困難、心停止の事例をグループで観察し、援助する（アセスメント後）
		1/14	8				1	9	呼吸困難、心停止の事例をグループで観察し、援助する（アセスメント後）
		1/19		16			2	18	成人、老年、在宅実習に向けて、事例を元にシミュレーションを通し、援助を考える
		1/20		16			2	18	成人、老年、在宅実習に向けて、事例を元にシミュレーションを通し、援助を考える
		1/21		16			2	18	成人、老年、在宅実習に向けて、事例を元にシミュレーションを通し、援助を考える
	豊橋市立看護専門学校	2/5					2	2	

	穂の香看護専門学校	3/8	7					7	動機を訴える患者の対応
		3/9	7					7	喘息発作患者への対応
		3/19	7					7	はじめて化学療法を受ける患者への看護
		3/22	7					7	腹痛を訴える患者の看護
	参加者合計		373	684	147	12	237	1453	
	割合（%）		26.6	47.0	10.1	0.1	16.3	100	

＜看護協会設置用＞

学校名	使用月日	参加学生数					計	授業内容
		1年	2年	3年	4年	その他		
名鉄看護専門学校	12/16			19			19	統合実習：臨床判断力トレーニング
	12/17			18			18	統合実習：臨床判断力トレーニング
公立春日井小牧看護専門学校	1/7		36				36	成人看護学演習
西尾市医師会准看護学校	3/11					1	1	シナリオのデモンストレーション
	3/16					5	5	シナリオのデモンストレーション
参加者合計		0	36	37		6	79	

令和3年度 看護師養成所 実習補完事業 実績（4月～6月）

＜グループ内配置用＞

ｸﾞﾙｰﾌﾟ	学校名	使用月日	参加学生数					計	授業内容
			1年	2年	3年	4年	その他		
A-1	中部労災看護専門学校	6/18	36	0	0	0	0	36	フィジカルアセスメント　不整脈と関節可動域
B-3	名古屋医専	5/9	0	5	0	0	2	7	体験入学にて使用。胸腹部の聴診の体験。(体験入学者30人)
		5/20	6	0	0	0	2	8	一年生の学生バイタルサインズ演習
		5/23	4	2	0	0	2	8	体験入学にて使用。胸腹部の聴診の体験。(体験入学者24人)
		5/24	40	0	0	0	2	42	基礎看護学方法論Ⅰ バイタルサインズの授業
		5/27	6	0	0	0	2	8	一年生の学生バイタルサインズ演習
		6/13	5	5	0	0	2	12	体験入学 (体験入学者25人)
		6/17	44	0	0	0	0	44	バイタルサイン測定、一般状態の観察
		6/23	43	1	0	0	0	44	バイタルサイン測定、一般状態の観察
		6/23	0	4	0	0	0	4	バイタルサイン測定、一般状態の観察
		6/26	0	0	30	0	0	30	成人実習（周手術期）シュミレーション
		6/27	3	4	0	0	2	9	体験入学 (体験入学者20人)
B-4	東海医療科学専門学校	4/13	0	39	0	0	0	39	バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント、コミュニケーション
		4/19	0	20	0	0	0	20	バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント、コミュニケーション
		4/20	0	19	0	0	0	19	バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント、コミュニケーション
		4/22	0	39	0	0	0	39	バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント、コミュニケーション
C-1	名古屋市立中央看護専門学校							0	「使用しない」に変更
C-2	愛生会看護専門学校	5/27	0	0	7	0	0	7	実習前のフィジカルイグザミネーション
C-3	名古屋平成看護医療専門学校	5/17	0	30	0	0	0	30	基礎看護学実習Ⅱ（学内） 心不全患者の観察
		5/18	0	30	0	0	0	30	基礎看護学実習Ⅱ（学内） 心不全患者の観察
C-5	専門学校愛知保健看護大学校	4/15	0	0	20	0	5	25	成人看護学実習前学習
		4/20	0	0	39	0	5	44	成人看護学実習前学習
		4/22	0	0	40	0	5	45	成人看護学実習前学習
		4/23	0	0	21	0	5	26	成人看護学実習前学習
		4/26	0	0	15	0	3	18	成人看護学実習前学習
		4/27	0	0	15	0	3	18	成人看護学実習前学習
C-5	専門学校愛知保健看護大学校							0	「使用しない」に変更

ｸﾞﾙｰﾌﾟ	学校名	使用月日	参加学生数					計	授業内容
			1年	2年	3年	4年	その他		
E-1	更生看護専門学校	5/27	0	0	5	0	1	6	学内実習　術直後の観察
		5/28	0	0	5	0	2	7	学内実習　術直後の観察
		5/30	0	0	5	0	1	6	学内実習　術直後の観察
F-2	蒲郡市立ソフィア看護専門学校	6/11	0	31	0	0	0	31	成人看護学　術前・術後の看護
		6/14	0	31	0	0	0	31	成人看護学　術前・術後の看護
		6/16	0	31	0	0	0	31	成人看護学　術前・術後の看護
		6/22	0	31	0	0	0	31	成人看護学　術前・術後の看護
G-3	東三河看護専門学校	5/23	0	0	7	0	0	7	シナリオを使用した吸引
		5/24	0	0	7	0	0	7	シナリオを使用した吸引
		5/25	0	0	7	0	0	7	シナリオを使用した導尿、膀胱留置カテーテル
		6/7	0	0	7	0	0	7	シナリオを使用した吸引
		6/8	0	0	7	0	0	7	シナリオを使用した吸引
		6/9	0	0	14	0	0	14	シナリオを使用した導尿、膀胱留置カテーテル
		6/10	0	0	14	0	0	14	シナリオを使用した導尿、膀胱留置カテーテル
		6/11	0	0	7	0	0	7	シナリオを使用した吸引
		6/14	0	0	7	0	0	7	シナリオを使用した吸引
		6/15	0	0	14	0	0	14	シナリオを使用した導尿、膀胱留置カテーテル
		6/16	0	0	14	0	0	14	シナリオを使用した導尿、膀胱留置カテーテル
		6/21	0	0	7	0	0	7	シナリオを使用した吸引
		6/22	0	0	14	0	0	14	シナリオを使用した導尿、膀胱留置カテーテル
		6/23	0	0	14	0	0	14	シナリオを使用した導尿、膀胱留置カテーテル
G-5	穂の香看護専門学校							0	「使用しない」に変更
合計			187	322	342	0	44	895	

資料Ⅱ-３-（1）

令和２年度看護師養成所　実習補完事業　シミュレーター運用要領

目的：新型コロナウィルス感染症拡大に伴い、看護師等養成所における医療機関等での臨地実習が中止されている実情を踏まえ、学内演習に代替した場合も学生は同等の知識と技能を習得できるよう、シミュレーターを活用し演習の支援を図る。

【対象】　愛知県内の看護師等養成所　38 校

【使用期間】　令和２年 11 月 10 日から令和３年３月 31 日

【使用物品】　多職種連携ハイブリッドシミュレーターSCENARIO ８台

【実施体制】

１）多職種連携ハイブリッドシュミレーター―SCENARIO　１台を看護協会（高辻センター講堂）に設置し、実習希望がある各養成所が使用する。

２）残り７台は、各養成所を７グループに分け、グループ内で期間ごとに各養成所へ移動し実習に使用する。

【役割】

愛知県看護協会	・全体調整 ・高辻センター講堂にSCENARIO1 台を設置し、使用したい養成所があれば調整を行う ・故障時、実習補助員の対応 ・SCENARIO 契約支払、運搬費の支払
取りまとめ養成所	・グループ内の日程調整（日程変更、追加の調整） ・SCENARIO の保管、管理

【運用方法】

方法１：看護協会配置のシミュレーター利用時

①予約　愛知県看護協会　教育センターへ電話で予約する

（３か月前から予約可能）TEL：052-871-0761

②手続き　原則１か月前までにホームページから申請書（様式１）をダウンロードし郵送またはメールで提出

返却時、ホームページから報告書（様式２または３）をダウンロードし郵送またはメールで提出

郵送先：〒466-0054　名古屋市昭和区円上町 26 番 18 号　看護師養成所実習補完事業担当

メール先：ana.jisyuhokan2020@gmail.com

③使用場所　愛知県高辻センター（愛知県看護研修会館となり）３階講堂

収容人数は６０名程度（227 ㎡）

利用日時は　火・木曜日　２日／週　　９時～17 時（準備、片付け含む）

④各養成所内での使用を希望する場合も上記①②は同様

貸出期間は原則１週間以内（移動日数も含む）

⑤シミュレーター受け渡しは直接、または送付（運搬費は養成所負担）

方法２：各養成所グループのシミュレーターの利用時

①予定表(資料 2)に従い、各養成校の指定期間に使用する。使用計画に空きがある場合は、グループ内の取りまとめ校が調整し運用する。

②使用期間終了後は、次に使用する学校に移送する。具体的な移送日は、発送校と受取校で調整する。

③使用修了後は、チェックリストを参照し、不足・破損がないか確認する。

④使用ごとに、愛知県看護協会ホームページから報告書（様式４）をダウンロードし月末に、郵送またはメールで提出する。

郵送先：〒466-0054　名古屋市昭和区円上町 26 番 18 号　看護師養成所実習補完事業担当

メール先：ana.jisyuhokan2020@gmail.com

⑤シミュレーターの受け渡しは運搬で行い、赤帽利用時の運搬費は協会が負担する。但し、協会負担の移送回数の上限は、各グループ内の学校数分となる。（5 校の場合は 5 回、6 校の場合は 6 回）

使用上の注意点

- シミュレーターの使用方法の説明が必要な場合は愛知県看護協会教育センターへ連絡する。
- 取扱いには十分注意して破損・故障などないよう注意する。
- 破損・故障時は速やかに教育センターに連絡する。
- 使用後は丁寧に洗浄・清拭・乾燥をし、汚れがないか確認する。特に、絆創膏などはきれいに除去する。
- シミュレーターチェックリストに基づいて点検し、開封した時と同様に収納する。

問い合わせ先：愛知県看護協会　教育センター
TEL：052-871-0761

令和 2 年 11 月 17 日作成
令和 3 年 2 月 24 日改正

資料Ⅱ-３-（2）

令和３年度看護師養成所実習補完事業　シミュレーター運用要領

目的：新型コロナウィルス感染症拡大に伴い、看護師等養成所における医療機関等での臨地実習が中止されている実情を踏まえ、学内演習に代替した場合も学生は同等の知識と技能を習得できるよう、シミュレーターを活用し演習の支援を図る。

前提：令和３年度以降、愛知県の看護師養成所等実習代替事業費補助金にて整備したシミュレーター８台は、当協会が管理し、看護師養成所の実習補完の目的で使用を継続する。
「多職種連携ハイブリッドシミュレーターSCENARIO」の製品保証終了は令和７年 11 月 30 日である。

【対象】　愛知県内の看護師等養成所　３６校
【使用期間】　令和３年４月１日から令和７年３月 31 日（予定）
【使用物品】　多職種連携ハイブリッドシミュレーターSCENARIO ８台
【実施体制】
１）多職種連携ハイブリッドシュミレーター―SCENARIO　１台を看護協会に保管し、実習希望がある各養成所が使用する。
２）残り７台は、各養成所を７グループに分け、グループ内で期間ごとに各養成所へ移動し実習に使用する。
【役割】

愛知県看護協会	・全体調整 ・看護協会内に SCENARIO1 台を設置し、使用したい養成所があれば調整を行う ・故障時の対応
取りまとめ養成所	・グループ内の日程調整（日程変更、追加の調整） ・SCENARIO の保管、管理

【運用方法】
方法１：看護協会配置のシミュレーター利用時
①予約　愛知県看護協会　教育センターへ電話で予約する
（３か月前から予約可能）TEL：052-871-0761
②手続き　原則１か月前までにホームページから申請書（様式１）をダウンロードし郵送またはメールで提出
返却時、ホームページから報告書（様式２または３）をダウンロードし郵送またはメールで提出
郵送先：〒466-0054　名古屋市昭和区円上町 26 番 18 号　看護師養成所実習補完事業担当
メール先：ana.jisyuhokan2020@gmail.com
③使用場所　使用できる会場がないため、貸出による各養成所内での使用とする。
④貸出期間は原則１週間以内（移動日数も含む）
⑤シミュレーター受け渡しは直接、または送付（運搬費は養成所負担）

方法２：各養成所グループのシミュレーターの利用時
①各グループの取りまとめ校が中心に利用予定表を作成する。予定表の１部は愛知県看護協会に提出する。

②予定表に従い、各養成校の指定期間に使用する。使用計画に空きがある場合は、グループ内の取りまとめ校が調整し運用する。

③使用期間終了後は、次に使用する学校に移送する。具体的な移送日は、発送校と受取校で調整する。

④使用修了後は、チェックリストを参照し、不足・破損がないか確認する。

⑤使用ごとに、愛知県看護協会ホームページから報告書（様式４）をダウンロードし月末に、郵送またはメールで提出する。

郵送先：〒466-0054　名古屋市昭和区円上町 26 番 18 号　看護師養成所実習補完研修担当

メール先：ana.jisyuhokan2020@gmail.com

⑥シミュレーターの受け渡しは運搬で行い、運搬費は受取側の負担とするなど運用は各グループで設定する。

使用上の注意点

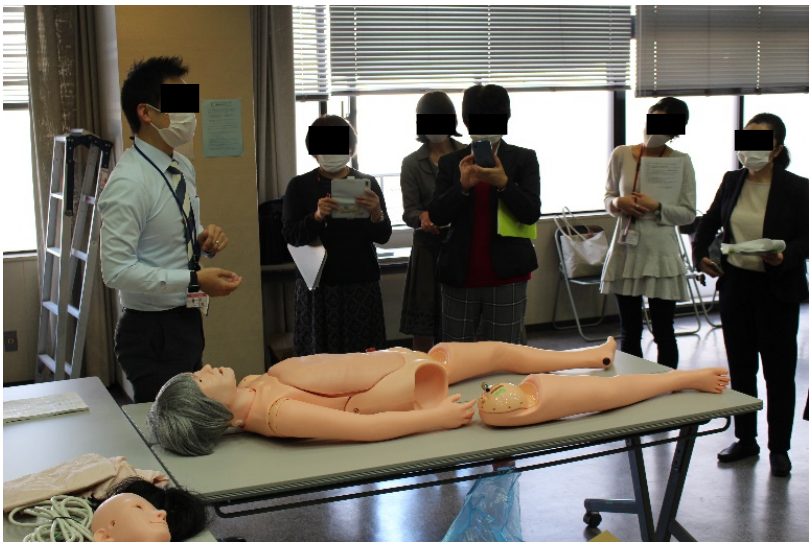
- シミュレーターの使用方法に変更が生じた場合は愛知県看護協会教育センターへ連絡する。
- 取扱いには十分注意して破損・故障などないよう注意する。
- 破損・故障時は速やかに教育センターに連絡する。
- 使用後は丁寧に洗浄・清拭・乾燥をし、汚れがないか確認する。特に、絆創膏などはきれいに除去する。
- シミュレーターチェックリストに基づいて点検し、開封した時と同様に収納する。

問い合わせ先：愛知県看護協会　教育センター
TEL：052-871-0761

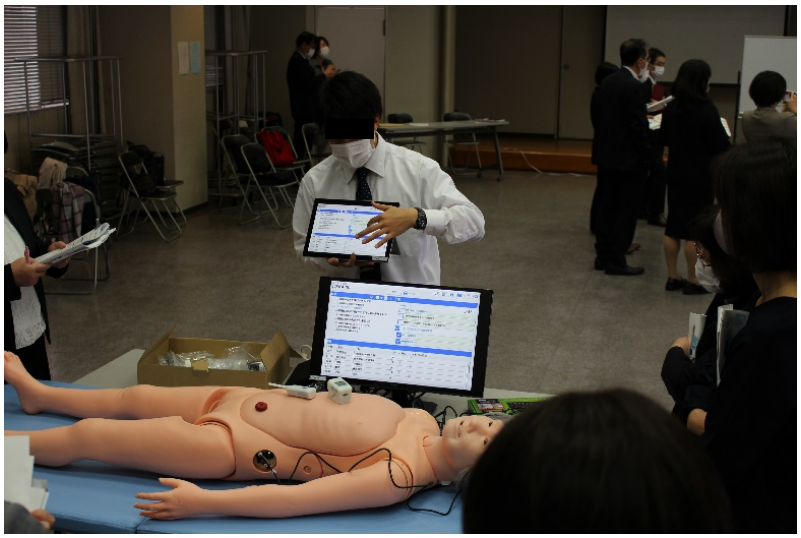
令和３年２月 24 日作成

看護師養成所実習補完事業説明会風景

事業の概要説明



シミュレーターの取扱い説明



ハイブリッドシミュレーターの取扱い説明

4 新型コロナウイルス感染防止対策相談窓口事業

1） 目的

児童福祉施設等は、適切な新型コロナウイルス感染防止対策を行った上での事業継続が求められているが、職員は感染予防のための標準予防策を必ずしも習得しておらず、感染対策に関する不安や疑問等を抱えて業務にあたっており、精神的にも多大な負荷を負っている。

そのため、児童福祉施設等における感染症対応力を底上げしつつ、継続的なサービス提供が可能となるよう、感染防止対策に関する相談窓口を設置するとともに、施設職員や子ども等のサービス利用者が濃厚接触者又は、新型コロナウイルス感染症を発症した場合には関係機関（保健所、医療機関等）への速やかな連絡体制により迅速な初期対応に繋げ、感染拡大を防止することで児童福祉施設等の安定的な運営を図ることを目的とする。

2） 対象

愛知県内に所在する児童福祉施設等　約 18,000 カ所

（保育所等 3,565 カ所、放課後児童クラブ等 5,114 カ所、児童養護施設等 116 カ所、障害福祉サービス施設 9,200 カ所）

3） 期間　令和2年8月5日～令和4年3月 31 日（予定）

4） 相談受付時間　午前9時から午後5時まで

5） 事業内容

（1）事業の周知

令和2年7月、令和3年3月にポスターを作成し、対象事業所に送信、愛知県及び看護協会ホームページに掲載した。

（2）相談対応

愛知県内に所在する児童福祉施設等から新型コロナウイルス感染防止対策に関する電話相談及び来所相談を受け、施設での感染防止について助言・指導を行う。

①電話相談

②来所相談

③訪問相談

（3）記録・報告

6） 資料

（1）福祉施設に対する事業フロー図

（2）対象施設

（3）ポスター（令和 2 年度版）

新型コロナウイルス感染防止対策相談窓口事業

令和2年8月～令和3年5月　事業実績

項目 / 月	電話相談			来所相談		訪問相談		計
	児童福祉施設等	障害福祉施設等	その他	児童福祉施設等	障害福祉施設等	児童福祉施設等	障害福祉施設等	
8月	54	24	2	0	0	0	0	80
9月	11	9	2	0	0	1	0	23
10月	7	8	6	0	0	1	1	23
11月	4	8	6	0	0	0	3	21
12月	18	20	8	0	0	0	1	47
1月	4	8	4	0	0	0	0	16
2月	3	7	5	0	0	0	0	15
3月	3	4	1	0	0	0	1	9
4月	4	10	5	0	0	0	1	20
5月	13	10	5	0	0	0	0	27
小計	121	108	44	0	0	2	7	282
合計	273			0		9		

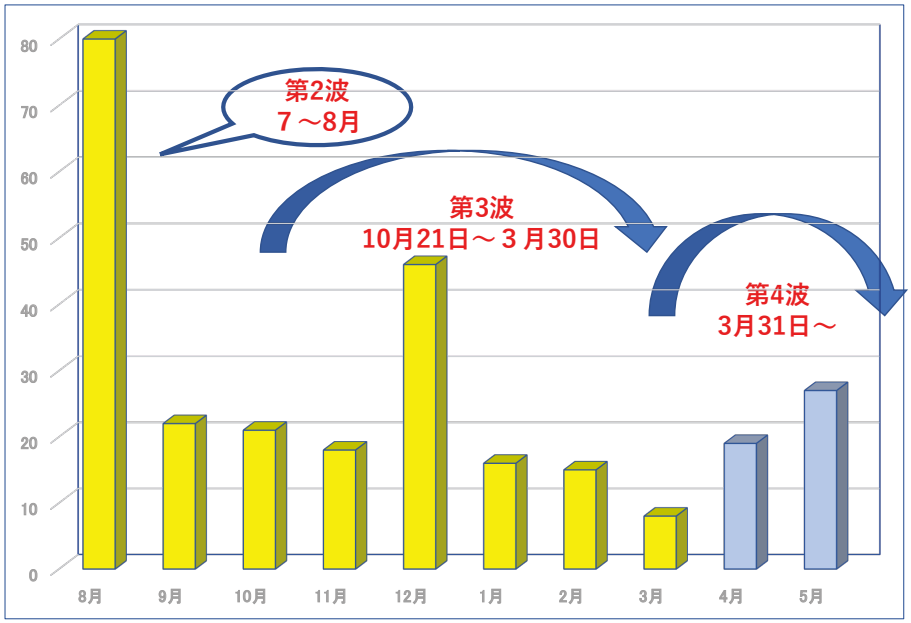
相談内容				計
施設内の感染防止対策	職員の感染防止対策	職員の家族等の感染防止対策	その他	
40	21	11	33	105
18	4	0	5	27
10	6	2	14	32
7	7	5	11	30
33	12	3	10	58
8	1	0	10	19
10	1	1	4	16
6	2	1	3	12
13	4	2	7	26
18	4	0	17	39
163	62	25	114	364

令和2年8月
～令和3年5月
新型コロナウイルス
感染防止対策
相談窓口事業報告

1

新型コロナウイルス感染防止対策相談窓口事業
1．目的：児童福祉施設等における感染症対応力を底上げしつつ、継続的なサービス提供が可能となるよう、感染防止対策に関する相談窓口を設置する 2．期間：2020年8月5日～2021年3月31日 2021年4月1日～2022年3月31日(予定) 3．受付時間：月曜日～金曜日　9：00～17：00 4．対象：愛知県内に所在する児童福祉施設及び障害者福祉サービス施設・事務所等 5．対応方法：電話相談：来所相談：訪問相談 2

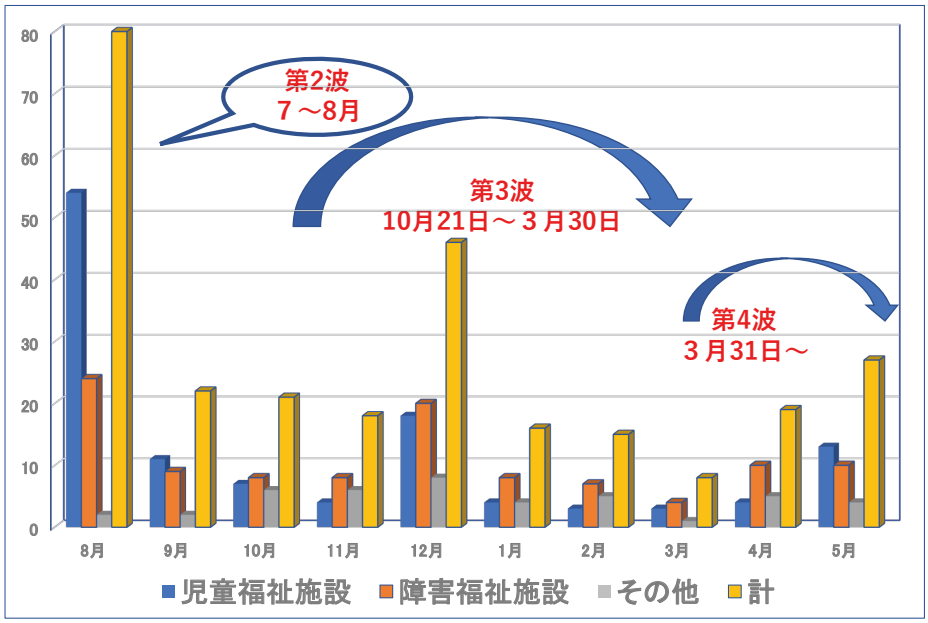
電話相談件数月別推移



・8月の第2波と12月の第3波に相談件数が増加している。
・1日の件数として一番多い日は開設した週の11件であった。
・第2波後は感染者の減少と共に相談件数も減少した。
・3波では、感染対策などの対応方法が浸透したためか感染者数の増加に伴った相談件数の増加は見られなかった。
・第4波でも感染者数の増加に比例した相談件数の増加は顕著ではなかった。

3

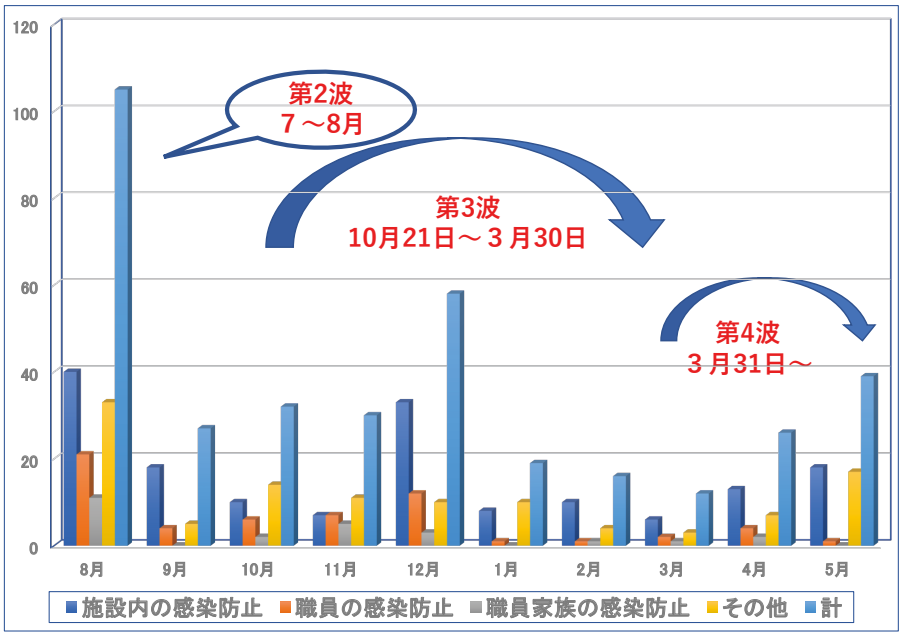
電話相談件数と施設別



・8月は、職員の家族や園児・利用者の家族が濃厚接触者になり、その対応の方法を尋ねる保育園・幼稚園・放課後デイサービスなど児童福祉施設等からの相談が半数以上を占めた。
・第3波あたりからは児童福祉施設の相談よりも、グループホームや障害福祉施設の管理者や看護師からの相談が増加した。
・第4波では施設間での差はなく、同施設からの問合わせが多かった。

4

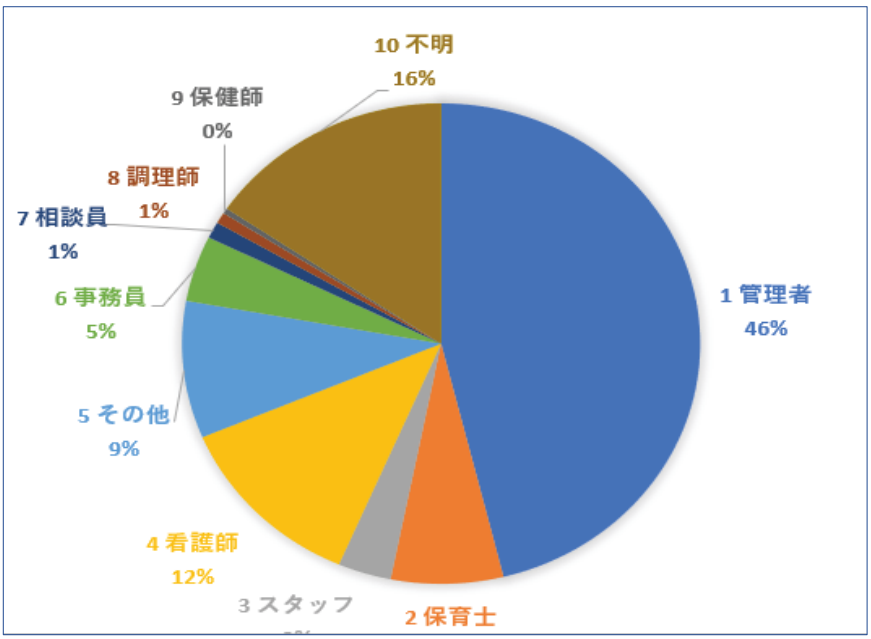
電話相談件数と相談内容



・8月の第2波時には、施設内の感染防止として消毒方法や消毒薬などの問い合わせや確認が半数近くを占めた。
・職員やその家族などが実際に濃厚接触者となり、慌てた様子で管理者からどうすればよいかとの相談も多かった。
・第3波時にはマニュアル作成を始め、ゾーニングの方法や陽性者が出た時の対応など具体的な相談内容が増加してきた。
・その他としては、利用者の感染時の情報開示についてがあった。

5

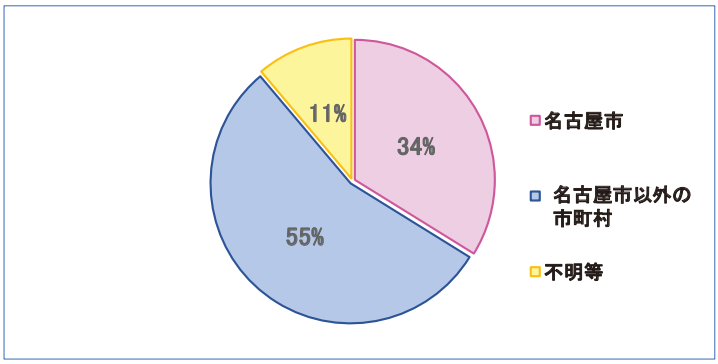
電話相談と職種別割合



・相談者としては、管理者が半数近くを占め、その内訳としては保育園の園長・障害者支援施設等の施設長や理事などがあった。
・看護師は障害者支援施設や老人介護施設、診療所に勤務していた。
・役所の保健師からの感染対策についての問い合わせもあった。
・その他には、一般の方や一般企業、ホテルの清掃担当の管理をされている方などがインターネットや新聞で情報を得て相談された。

6

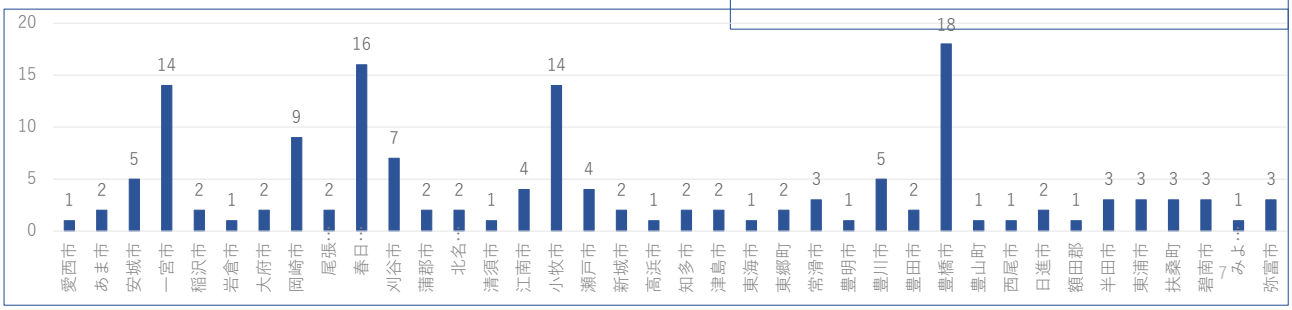
電話相談　地域別割合



名古屋市内の相談件数が3割を占め、名古屋市外の市町村が5割以上であった。中でも豊橋市、一宮市、小牧市、春日井市が多かった。その地域の感染者数の増加に伴い相談件数も増えていた。

また携帯電話からの相談で、情報提供を拒む場合には、地域を特定することが難しかった。

令和3年4月以降も、一宮市、小牧市、春日井市の相談が多かった。



電話相談　相談内容内訳1

表1　相談内容のカテゴリー、サブカテゴリー、コードの関係

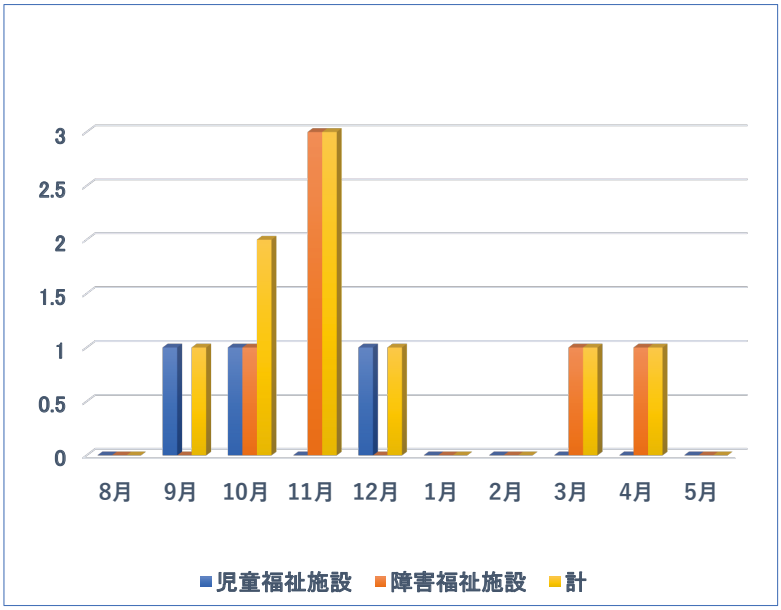
カテゴリー	サブカテゴリー
施設内の感染防止策について	入居施設での感染対策方法について
	現状の感染対策の再確認と承認
	マニュアル作成についての承認とアドバイス
	具体的事例についての承認とアドバイス
	消毒方法と消毒薬について
	ゾーニングの方法について
職員の感染防止策について	発熱時の対応と出勤の目安について
	コロナ陽性だった時の対応について
	コロナ陰性だった時の対応について
職員の家族等の感染防止策について	家族がコロナ陽性者や濃厚接触者になった場合の対応
	家族の勤務先でコロナ陽性者が出た場合の対応
	家族が発熱した場合の職員の勤務について
	職員の子供が通う先でコロナ陽性者や濃厚接触者が出た場合の対応について
	cocoaから連絡が来た職員の対応について
	職員の家族がコロナ陽性者の対応をしている場合の施設での対応について

電話相談　相談内容内訳2

表1　相談内容のカテゴリー、サブカテゴリー、コードの関係	
カテゴリー	サブカテゴリー
その他	コロナ情報の提供について
	利者用の発熱時の対応と受け入れの目安について
	利用者の家族がコロナ陽性者や濃厚接触者になった場合の受け入れや対応について
	利用者の家族がコロナ陽性者や濃厚接触者になった場合の感染対策について
	コロナ疑いの利用者の対応について
	窓口の確認や問い合わせ先の案内
	コロナ陽性者が出た地域からの利用者の受け入れについて
	補助金制度について知りたい
	感染状況やクラスターの原因が知りたい
	年末年始の相談窓口の対応について
	勤務する施設の感染対策についての不満
	ワクチン接種について

9

訪問相談



・最初の訪問相談は、児童養護施設へ感染防止対策の助言・指導と防護服着脱訓練(実技)を施設の職員30名に実施した。
・障害者福祉施設やグループホーム等の小規模な施設では、感染防止対策の助言・指導と感染対策の方法やゾーニングの実際等を職員とともに検討した。
・児童福祉施設２件、障害者福祉施設６件の計８件の訪問相談を実施した。
・同施設からの訪問相談依頼もあった。
・訪問後の調査を行った結果、訪問指導を行った施設では、コロナ陽性者の発生はなかった。

10

結果・考察

○相談件数を地域別にみると、名古屋市外の市町村からの相談が、名古屋市内より多かった。愛知県発表の新型コロナウイルス感染症患者報告のコロナ発症地域からの相談(濃厚接触者関連)と相関していた。
○発熱や症状を有する時の対応を求める管理者からの相談が多く、管理者にアセスメント能力が求められている事が伺えた。
○第2波では、児童福祉施設等からの相談件数が障害福祉施設等より多く、特に保育園等の管理者からの相談が多かった。相談内容は施設内の感染管理等について承認とアドバイスを求めるものが多かった。
○職員や利用者の家族が濃厚接触者になった場合の情報開示についての相談から、管理者は「リスク管理」と「個人情報の保護」の間で葛藤していることが伺えた。

11

結果・考察

○感染管理についての相談内容は、現在行っている対策への承認とアドバイスを求めるものが多く、管理者は現場でのコロナ対応という初めての経験に不安を抱えていたことが伺えた。
○第2波では利用者や職員が濃厚接触者になった場合の相談が多かった。コロナ陽性者や濃厚接触者には、直接、保健所から指導があるが、施設管理者には十分な情報がなく、指導内容が分からないためと考えられた。
○第3・4波では、施設管理者が自身でインターネットなどを介して情報を得られるようになり、相談内容がマニュアル作成のアドバイスやゾーニングの方法等の具体的な内容に変化してきた
○訪問相談は9件あり、その後の調査では訪問後も訪問施設にコロナ陽性者の発生はなく、訪問相談の効果があったと考える
○相談内容から施設内での看護師と介護職との意見の相違があり、多職種の中で看護師が感染対策を行う困難さが伺えた。

12

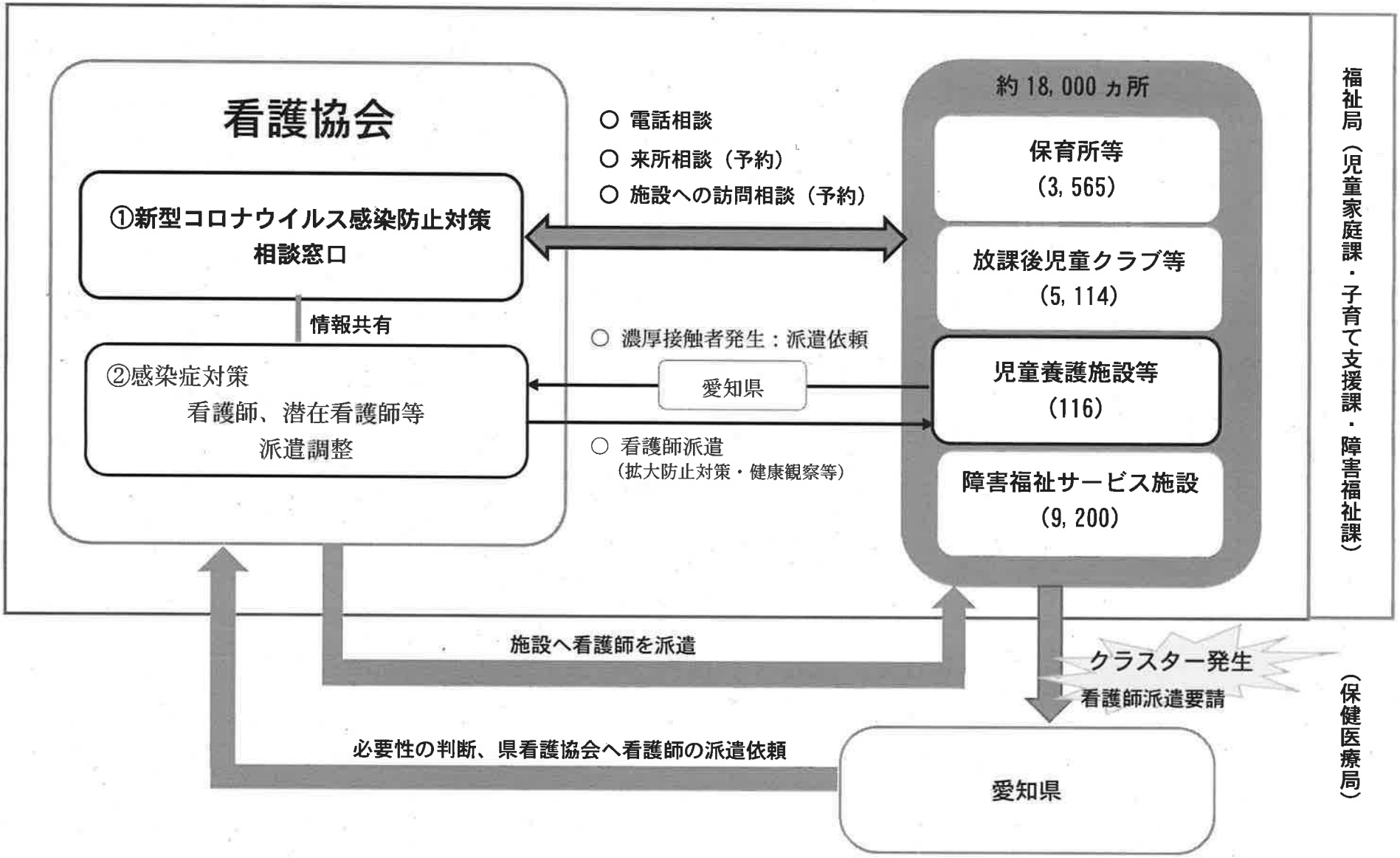
今後の課題

○その時々に必要な情報を提供できるよう、常に厚生労働省等関連部門からの最新情報の収集に努め、相談支援に活かす。
○訪問相談を行い現状把握をしながら、現場に即した的確な相談支援を行う。また感染対策の施設内教育に携わり現場の質向上に繋げる。
○相談時には現行の承認と労いを行い、相談者や管理者の心のケアに繋がる支援をしていく。
○認定看護師や保健師等と連携を図り、情報交換やアドバイスを受け相談支援に生かす
○医療従事者不在の施設や看護師の配置が少人数の施設では、このような相談窓口の必要性が明らかになり、支援の継続性を考える
○相談支援をすることで、児童・障害者福祉施設等でのクラスター発生を防ぎ、医療の逼迫に繋がらないようにする

13

資料Ⅱ－４－（１）

（福祉局）①児童福祉施設及び障害福祉サービス施設・事業所等　新型コロナウイルス感染防止対策相談窓口事業
②児童養護施設等において濃厚接触者が発生した場合の看護師の派遣　事業



資料Ⅱ－4－(2)

新型コロナウイルス感染防止対策相談窓口事業　対象施設

区分		対象施設
児童福祉施設等 （約 8,800 施設）	保育所等	保育所、幼保連携型認定こども園、地域型保育事業所、児童福祉法(昭和 22 年法律第 164 号)第 59 条の２に基づく届出を行っている認可外保育施設、児童厚生施設
	放課後児童健全育成事業等	放課後児童健全育成事業、利用者支援事業、延長保育事業、子育て短期支援事業、乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業、地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、病児保育事業、子育て援助活動支援事業　（ファミリー・サポート・センター）
	児童養護施設等	児童養護施設、児童自立支援施設、母子生活支援施設、乳児院、児童心理治療施設、婦人保護施設、婦人相談所、婦人相談所一時保護所（一時保護の委託先の施設を含む。）、児童自立生活援助事業（自立援助ホーム）、小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム）、児童家庭支援センター、児童相談所、児童相談所一時保護所（一時保護の委託先の施設を含む。）
	子どもの生活・学習支援事業等	子どもの生活・学習支援事業、母子家庭等就業・自立支援センター
障害福祉サービス施設・事業所等 （約 9,000 施設）		生活介護、療養介護、自立訓練（機能訓練）、自立訓練（生活訓練）、就労移行支援、就労継続支援 A 型、就労継続支援 B 型、就労定着支援、児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、障害者支援施設、共同生活援助、福祉型障害児入所施設、医療型障害児入所施設、居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護、自立生活援助、保育所等訪問支援、居宅訪問型児童発達支援、計画相談支援、障害児相談支援、地域移行支援、地域定着支援

資料Ⅱ-4-(3)

新型コロナウイルス感染防止対策相談窓口事業

児　童　福　祉　施　設　及　び
障害福祉サービス施設・事業所のための

相談窓口を開設しました！

感染防止対策は？
清潔・不潔の区域分け？
発熱者が出たら？

無料

相談施設の費用負担はありません

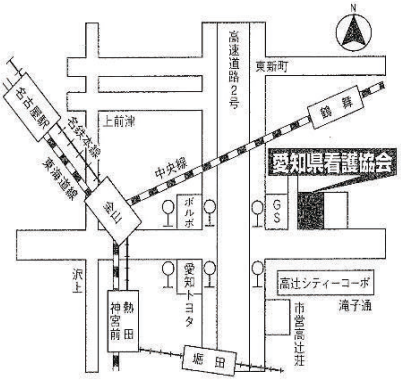
期　間	2020年8月５日～2021年3月31日
受付時間	平日　9:00～17:00
対応方法	電話相談、来所相談（要予約）等
対　象	愛知県内に所在する児童福祉施設及び障害福祉サービス施設・事業所等

感染拡大防止には、予防のための正しい知識が必要です。
お気軽にご相談ください！

相談窓口：公益社団法人 愛知県看護協会

TEL　090-1563-6688

所在地　〒466-0054
名古屋市昭和区円上町26番18号



5 濃厚接触児受入施設等看護師派遣業務

1） 目的

保護者が新型コロナウイルス感染症にり患し入院が必要となったことにより、保護が必要となった児童（陰性確定され濃厚接触者と認定された児童）を県児童相談センター一時保護所で対処する際や、児童養護施設等に入所している児童が濃厚接触者となった際に、その児童やその施設に入所している児童が安心して生活することができるよう、適切な感染症対応の指導や児童の健康観察、必要に応じて医療機関との調整を担う看護師を派遣する。

2） 対象施設

県児童相談センター一時保護所 2 カ所、県内(名古屋市を除く)乳児院・児童養護施設・児童自立支援施設・児童心理治療施設・ファミリーホーム　　令和2年度 36 施設、令和2年度 37 施設

3） 期間

令和2年9月～令和4年3月 31 日（予定）

4） 事業内容

（1）派遣体制の構築

①対象施設のかかりつけ医・病院を確認し、考慮する。

②対象施設のかかりつけを鑑みて近隣（地区支部内）の会員施設複数を担当とし、事業の趣旨を伝え、その施設での事案発生時の対応を依頼した。

③事案発生時には、改めて派遣依頼するものとした。

（2）看護師の派遣依頼

対象施設に看護師派遣の必要が生じた場合に、派遣依頼を行う。

（3）看護師の業務

①児童の健康観察または施設が行った健康観察状況の確認

②施設内の感染防止対策実施状況の確認

③必要に応じて保健所や医療機関との連絡調整又は連絡調整指示

5） 結果

派遣要請はなかった

6） 資料

（1）濃厚接触児受入施設等看護師派遣業務　業務内容

（2）児童養護施設等への看護師派遣（スキーム）

（3）濃厚接触児受入施設等への看護師派遣フロー

（4）濃厚接触児受入施設等への看護師派遣　協会内フロー

（5）対象施設と看護師派遣担当施設一覧

（6）病院別担当施設一覧

資料Ⅱ－５－（1）

濃厚接触児受入施設等看護師派遣業務　業務内容

１　業務内容

愛知県の各児童(･障害者)相談センター（以下「県児童相談センター」）が保護者の新型コロナウイルス感染症への罹患により入院等が必要となったことにより要保護児童となった児童（陰性確定され濃厚接触者と認定された児童）を県児童相談センター一時保護所において対処する際等に、適切な感染症対応の指導や当該児童の健康観察、必要に応じて医療機関との調整等を担う看護師を派遣する。

また、児童養護施設等（別表１に掲げる施設）に入所している児童が濃厚接触者となった場合においても、当該児童や当該施設に入所している児童が安心して生活することができるよう上記と同様の対応を行うため児童養護施設等に看護師を派遣する。

２　実施方法

（１）　看護師の派遣依頼

① 県児童相談センター一時保護所又は児童養護施設等で看護師派遣の必要が生じた場合は、県より看護師の派遣を依頼様がある。

② 派遣依頼に応じて、濃厚接触者となった児童の状況及び当該施設の状況等から派遣する看護師を決定し、県児童相談センター一時保護所又は児童養護施設等に看護師を派遣する。

③ 派遣する日数及び時間等は、派遣先施設と調整のうえ決定する。

④ 調整結果を県に報告する。

（２）　看護師の業務

①当該児童の健康観察又は施設が行った健康観察状況の確認

②施設内の感染症防止対策実施状況の確認

③必要に応じて保健所や医療機関との連絡調整又は連絡調整指示

（３）　対象施設

県児童相談センター一時保護所２か所、別表１に掲げる施設３７か所

３　事業実施体制

（１）担当者の設置

（２）派遣看護師の調整

派遣依頼に応じることができるよう看護師派遣体制を構築し、予め調整しておく

４　その他

派遣先施設での健康観察や関係機関との連絡等で必要な備品（体温計や電話器等）は、派遣先施設の備品を使用する。

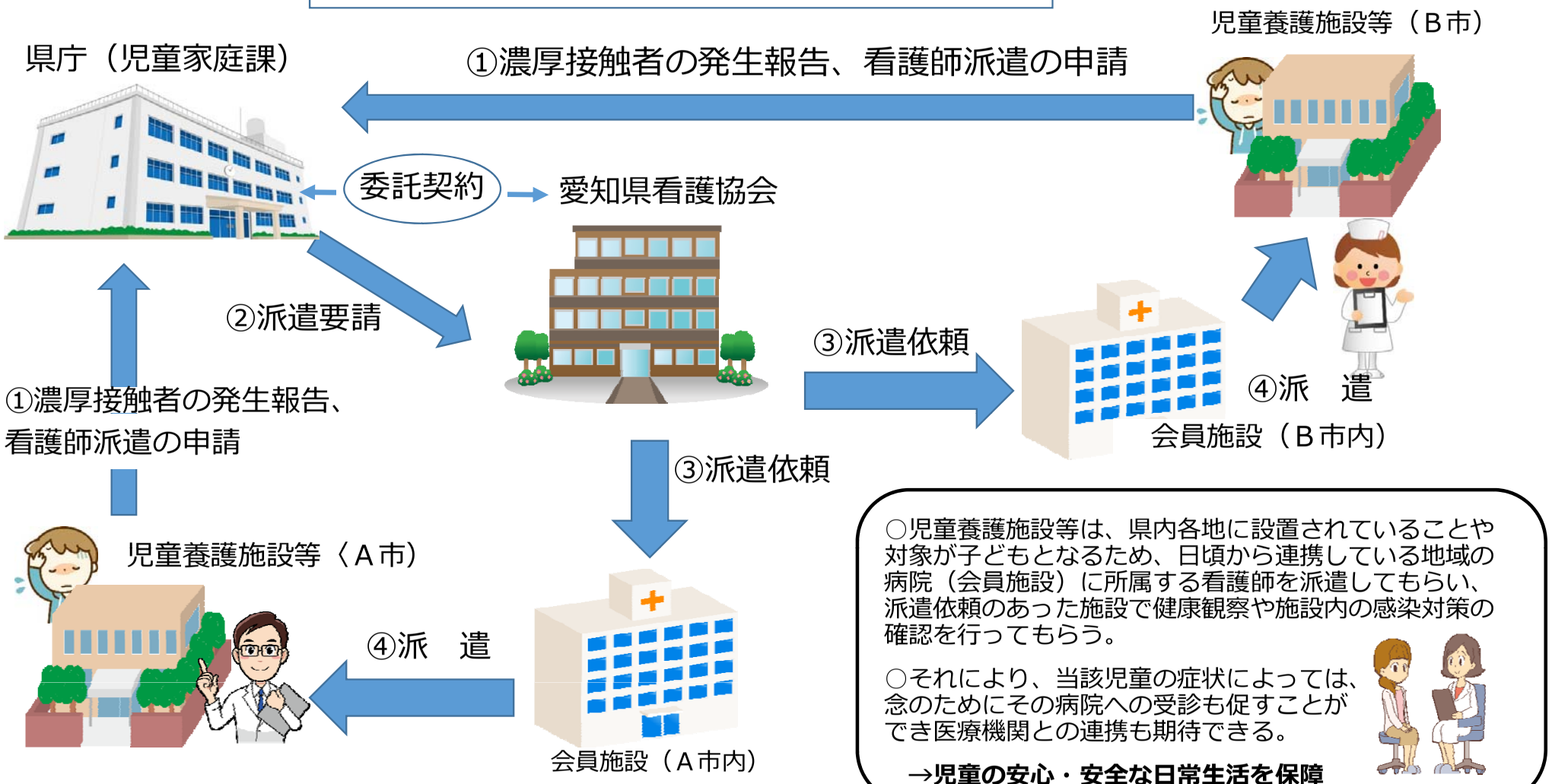
別表１

派遣対象施設一覧(37 施設)

施設種別	施設名	所在地
乳　児　院 （４）	豊橋ひかり乳児院	豊橋市
	竜陽園	小牧市
	赤ちゃんの家さくらんぼ	犬山市
	ひよこハウス	岡崎市
児童養護施設 （２２）	豊橋平安寮	豊橋市
	豊橋若草育成園	豊橋市
	岡崎平和学園	岡崎市
	プティヴィラージュ	岡崎市
	子どもの家ともいき	一宮市
	照光愛育園	一宮市
	光輝寮	豊川市
	溢愛館	犬山市
	知多学園八波寮	常滑市
	知多学園松籟荘	常滑市
	八楽児童寮	新城市
	暁学園	東海市
	蒲生会大和荘	尾張旭市
	名古屋文化キンダーホルト	長久手市
	梅ヶ丘学園	豊田市
	中日青葉学園あおば館	日進市
	赤羽根学園	田原市
	風の色	知多群東浦町
	オリーブ	碧南市
	なかよしこよし	安城市
	宇宙（そら）	一宮市
	あいさんテラス	津島市
児童自立支援施設（１）	愛知学園	春日井市
児童心理治療施設（２）	ならわ学園	半田市
	中日青葉学園わかば館	日進市
ファミリーホーム（８）	わたしん家	常滑市
	和みの家	あま市
	わが家	大府市
	くらちゃんハウス	東海市
	Ｈａｐｐｙ　Ｆａｍｉｌｙ	岡崎市
	ゆりちゃんハウス	知多郡美浜町
	おぅるの家	春日井市
	ファミリーホームケチャップハウス	海部郡大治町

資料Ⅱ－5－（2）

児童養護施設等への看護師派遣

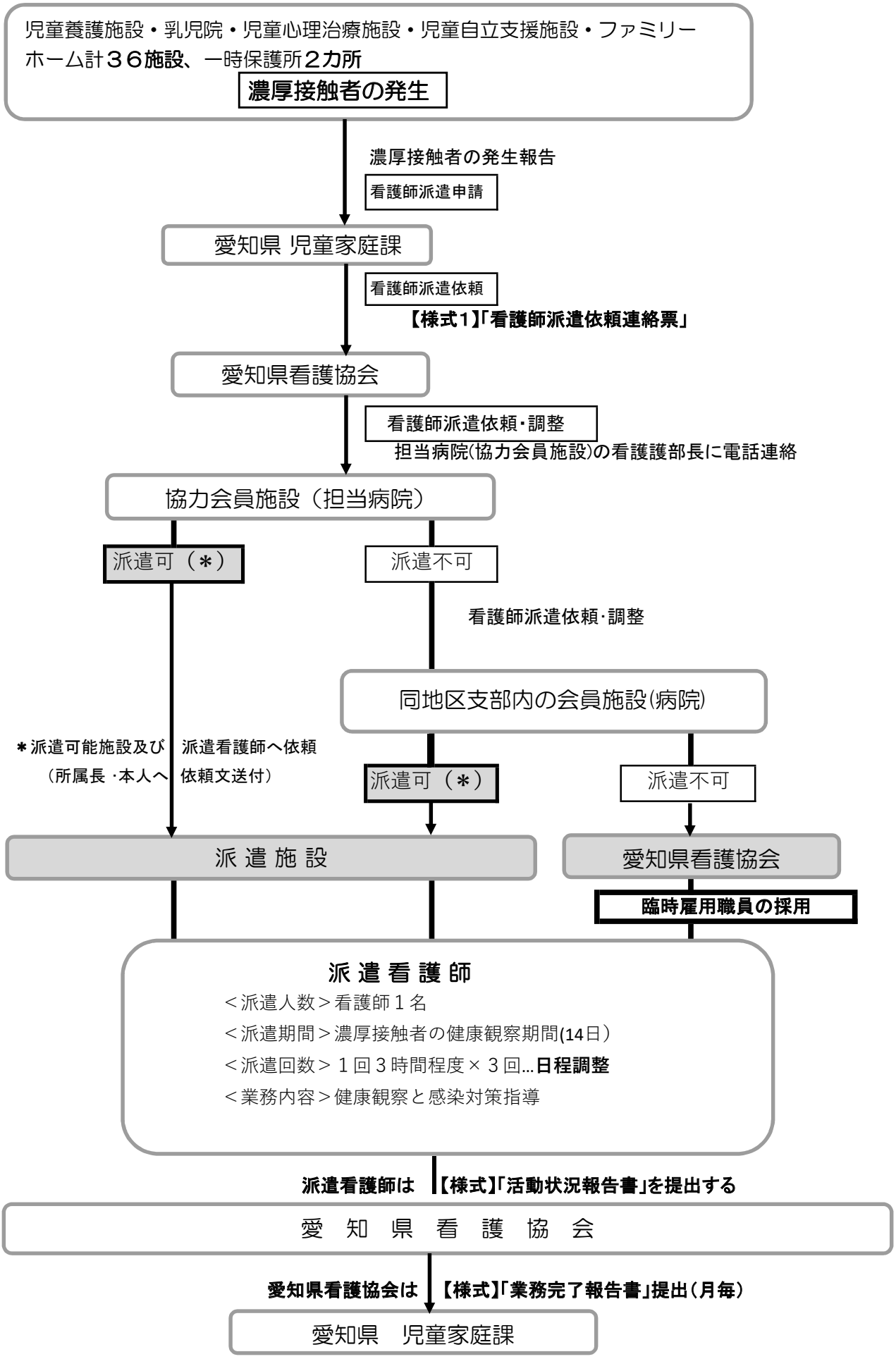


○児童養護施設等は、県内各地に設置されていることや対象が子どもとなるため、日頃から連携している地域の病院（会員施設）に所属する看護師を派遣してもらい、派遣依頼のあった施設で健康観察や施設内の感染対策の確認を行ってもらう。

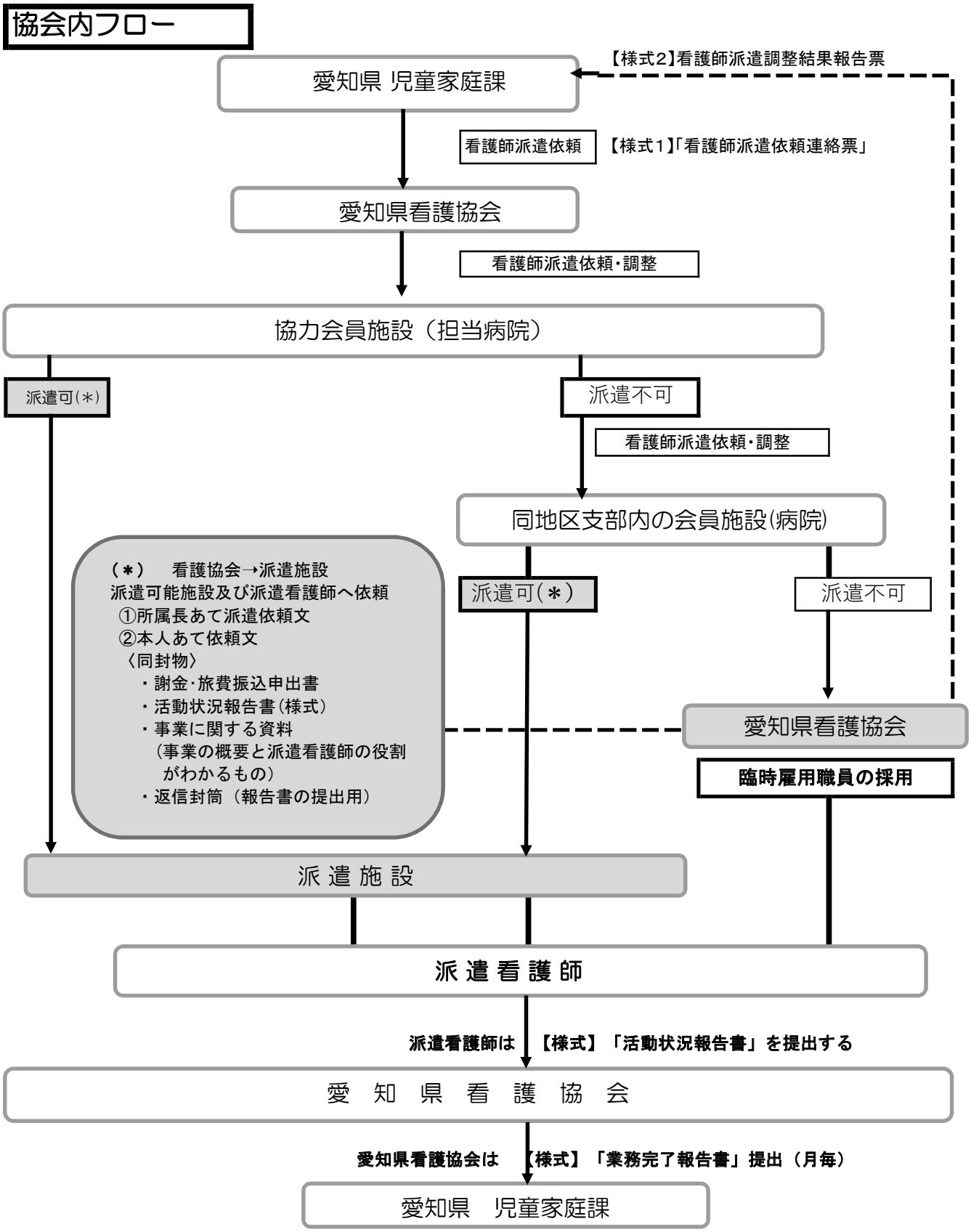
○それにより、当該児童の症状によっては、念のためにその病院への受診も促すことができ医療機関との連携も期待できる。

→児童の安心・安全な日常生活を保障

濃厚接触児受け入れ施設等への看護師派遣のフロー



濃厚接触児受け入れ施設等への看護師派遣のフロー



濃厚接触児受入施設等看護師派遣事業　対象施設と看護師派遣担当施設一覧

地区支部	対象施設(37施設)			看護師派遣施設	
	施設種別	施設名	所在地	病院名	病院名
海部	児童養護施設	あいさんテラス	津島市	津島市民病院	海南病院
	ファミリーホーム	和みの家	あま市	あま市民病院	津島市民病院
	ファミリーホーム	ファミリーホームケチャップハウス	海部郡大治町	海南病院	あま市民病院
尾張西部	児童養護施設	子どもの家ともいき	一宮市	稲沢市民病院	一宮市立市民病院
	児童養護施設	照光愛育園	一宮市	総合大雄会病院	一宮市立市民病院
	児童養護施設	宇宙	一宮市	一宮西病院	一宮市立市民病院
尾張北部	児童自立支援施設	愛知学園	春日井市	春日井市民病院	名古屋徳洲会総合病院
	乳児院	竜陽園	小牧市	小牧市民病院	さくら総合病院
	乳児院	赤ちゃんの家さくらんぼ	犬山市	JA愛知県厚生連江南厚生病院	さくら総合病院
	児童養護施設	溢愛館	犬山市	総合犬山中央病院	JA愛知厚生連江南厚生病院
	ファミリーホーム	おぅるの家	春日井市	東海記念病院	春日井市民病院
尾張東部	児童養護施設	蒲生会大和荘	尾張旭市	公立陶生病院	愛知医科大学病院
	児童養護施設	名古屋文化キンダーホルト	長久手市	愛知医科大学病院	公立陶生病院
	児童養護施設	中日青葉学園あおば館	日進市	日進おりど病院	愛知医科大学病院
	児童心理治療施設	中日青葉わかば館	日進市	日進おりど病院	愛知医科大学病院
知多半島	児童養護施設	知多学園八波寮	常滑市	常滑市民病院	半田市立半田病院
	児童養護施設	知多学園松籟荘	常滑市	常滑市民病院	半田市立半田病院
	児童養護施設	暁学園	東海市	公立西知多総合病院	あいち小児保健医療総合センター
	児童養護施設	風の色	知多郡東浦町	半田市立半田病院	知多厚生病院
	児童心理治療施設	ならわ学園	半田市	半田市立半田病院	常滑市民病院
	ファミリーホーム	わたしん家	常滑市	知多厚生病院	常滑市民病院
	ファミリーホーム	わが家	大府市	あいち小児保健医療総合センター	公立西知多総合病院
	ファミリーホーム	くらちゃんハウス	東海市	公立西知多総合病院	あいち小児保健医療総合センター
	ファミリーホーム	ゆりちゃんハウス	知多郡美浜町	知多厚生病院	常滑市民病院
西三河北部	児童養護施設	梅ケ丘学園	豊田市	豊田厚生病院	トヨタ記念病院
西三河南部西	児童養護施設	オリーブ	碧南市	碧南市民病院	小林記念病院
	児童養護施設	なかよしこよし	安城市	安城更生病院	八千代病院
西三河南部東	乳児院	ひよこハウス	岡崎市	岡崎市民病院	岡崎医療センター
	児童養護施設	岡崎平和学園	岡崎市	宇野病院	岡崎市民病院
	児童養護施設	プティヴィラージュ	岡崎市	宇野病院	岡崎市民病院
	ファミリーホーム	Happy Family	岡崎市	岡崎市民病院	岡崎医療センター
東三河	乳児院	豊橋ひかり乳児院	豊橋市	豊橋市民病院	蒲郡市民病院
	児童養護施設	豊橋平安寮	豊橋市	蒲郡市民病院	豊橋市民病院
	児童養護施設	豊橋若草育成園	豊橋市	成田記念病院	豊橋市民病院
	児童養護施設	光輝寮	豊川市	豊川市民病院	豊橋市民病院
	児童養護施設	八楽児童寮	新城市	新城市民病院	成田記念病院
	児童養護施設	赤羽根学園	田原市	渥美病院	豊橋市民病院

資料Ⅱ-5-(6)

濃厚接触児受入施設等看護師派遣事業　病院別担当施設一覧

看護師派遣施設(案)			対象施設(派遣先)				
支部		病院名	施設1	施設2	施設3	施設4	施設5
海部	1	あま市民病院	ファミリーホーム 和みの家	ファミリーホーム ケチャップハウス			
	2	海南病院	児童養護施設 あいさんテラス	ファミリーホーム ケチャップハウス			
	3	津島市民病院	児童養護施設 あいさんテラス	ファミリーホーム 和みの家			
尾張西部	4	稲沢市民病院	児童養護施設 子どもの家ともいき				
	5	一宮市立市民病院	児童養護施設 宇宙	児童養護施設 子どもの家ともいき	児童養護施設 照光愛育園		
	6	一宮西病院	児童養護施設 宇宙				
	7	総合大雄会病院	児童養護施設 照光愛育園				
尾張北部	8	JA愛知県厚生連江南厚生病院	乳児院 赤ちゃんの家さくらんぼ	児童養護施設 溢愛館			
	9	さくら総合病院	乳児院 赤ちゃんの家さくらんぼ	乳児院 竜陽園			
	10	東海記念病院	ファミリーホーム おぅるの家				
	11	名古屋徳洲会総合病院	児童自立支援施設 愛知学園				
	12	春日井市民病院	児童自立支援施設 愛知学園	ファミリーホーム おぅるの家			
	13	小牧市民病院	乳児院 竜陽園				
	14	総合犬山中央病院	児童養護施設 溢愛館				
尾張東部	15	愛知医科大学病院	児童養護施設 名古屋文化キンダーホルト	児童養護施設 蒲生会大和荘	児童養護施設 中日青葉学園あおば館	児童心理治療施設 中日青葉わかば館	
	16	公立陶生病院	児童養護施設 蒲生会大和荘	児童養護施設 名古屋文化キンダーホルト			
	17	日進おりど病院	児童養護施設 中日青葉学園あおば館	児童心理治療施設 中日青葉わかば館			
知多半島	18	あいち小児保健医療総合センター	ファミリーホーム わが家	児童養護施設 暁学園	ファミリーホーム くらちゃんハウス		
	19	公立西知多総合病院	児童養護施設 暁学園	ファミリーホーム くらちゃんハウス	ファミリーホーム わが家		
	20	常滑市民病院	児童養護施設 知多学園八波寮	児童養護施設 知多学園松籟荘	ファミリーホーム わたしん家	ファミリーホーム ゆりちゃんハウス	児童心理治療施設 ならわ学園
	21	知多厚生病院	ファミリーホーム わたしん家	ファミリーホーム ゆりちゃんハウス	児童養護施設 風の色		
	22	半田市立半田病院	児童養護施設 風の色	児童心理治療施設 ならわ学園	児童養護施設 知多学園八波寮	児童養護施設 知多学園松籟荘	
西三河北部	23	トヨタ記念病院	児童養護施設 梅ケ丘学園				
	24	豊田厚生病院	児童養護施設 梅ケ丘学園				
西三河南部西	25	小林記念病院	児童養護施設 オリーブ				
	26	八千代病院	児童養護施設 なかよしこよし				
	27	安城更生病院	児童養護施設 なかよしこよし				
	28	碧南市民病院	児童養護施設 オリーブ				
西三河南部東	29	宇野病院	児童養護施設 岡崎平和学園	児童養護施設 プティヴィラージュ			
	30	岡崎医療センター	乳児院 ひよこハウス	ファミリーホーム Happy Family			
	31	岡崎市民病院	乳児院 ひよこハウス	ファミリーホーム Happy Family	児童養護施設 岡崎平和学園	児童養護施設 プティヴィラージュ	
東三河	32	蒲郡市民病院	児童養護施設 豊橋平安寮	乳児院 豊橋ひかり乳児院			
	33	成田記念病院	児童養護施設 豊橋若草育成園	児童養護施設 八楽児童寮			
	34	渥美病院	児童養護施設 赤羽根学園				
	35	新城市民病院	児童養護施設 八楽児童寮				
	36	豊橋市民病院	乳児院 豊橋ひかり乳児院	児童養護施設 豊橋平安寮	児童養護施設 豊橋若草育成園	児童養護施設 赤羽根学園	児童養護施設 光輝寮
	37	豊川市民病院	児童養護施設 光輝寮				